

Ⅱ. 各種委員会

【企画部門】

1. 企画委員会

委員長 吉谷 純一
幹事長 福田 大輔
副幹事長 柏倉 志乃 清野 聡子

ほかに委員、委員兼幹事：34名 委員会：4回

- 1) JSCE2020プロジェクトの総括
- 2) 会長プロジェクトの活動を支援
- 3) 次期五か年計画JSCE2025（仮称）の検討
- 4) 土木学会見える化データ2023の公表

1-1 学生小委員会

委員長 川端 浩平 副委員長 佐藤 駿次
幹事長 樋口 蒼太朗

ほかに委員：26名 委員会：3回

- 1) 全国大会に併せ、学生同士の交流を促進するイベントを実施
- 2) 学生の主体的な取り組みによる土木知識・資質の向上に向けた取り組みの実践・発信
- 3) ほか、学生が中心となる学会活動について、月二回 Discordで議論

1-2 「Beyondコロナの地方創生と土木のビッグピクチャー」フォローアップ小委員会

委員長 屋井 鉄雄

ほかに委員：9名 調査団メンバー：2名 委員会：3回

- 1) 土木計画学研究発表会でSSを開催（2024.11）、土木学会tvでアーカイブを公開
- 2) 成果出版に向けた執筆活動

1-3 「日本インフラの体力診断」小委員会

委員長 家田 仁

ほかに委員、幹事：28名 WG：4回

- 1) 「インフラ体力診断」第四弾（街路空間・バルク港湾・空港）を公表
- 2) 全国大会において研究討論会を開催（2024.9）
- 3) 書籍「日本インフラの体力診断」の発行

2. 論説委員会

委員長 藤原 章正 委員兼幹事長 小林 孝一

ほかに委員、幹事：32名 委員会：2回 幹事会：1回

- 1) 土木に関わる重大な社会問題についての議論を促進し、社会の適切な判断と行動につなげるとともに、豊かで安全・安心な社会の持続的発展に寄与するため、土木をはじめ様々な分野の識者による見解・見識24編を「論説・オピニオン」として土木学会HPや土木学会誌で公表し、SNS（土木学会公式note）で広く社会に発信

3. 2024年度会長プロジェクト 土木学会の風景を描くプロジェクト

委員長 佐々木 葉

ほかに委員：8名、幹事：3名 委員会：1回 WG長会議：2回

- 1) 「会員一人ひとりの世界が広がったら土木界はもっと元気になる」を概念として土木学会の風景を描く3つの柱となるプロジェクト（「交流の風景」「ひろがる仕事の風景」「学会のDX」）を立ち上げた。

3-1 交流の風景プロジェクト 会員名刺デザインWG

WGリーダー 佐 瀬 優 子

ほかに委員等：4名 オンラインにて会議を実施

- 1) JSCE交流名刺を製作

3-2 交流の風景プロジェクト D&I行動宣言フォローアップWG

WGリーダー 飯島 玲子

ほかに委員等：7名 オンラインにて会議を実施

- 1) 土木学会DEI行動宣言を策定

3-3 交流の風景プロジェクト クマジロウの教えてドボコン動画配信WG

WGリーダー 宮 城 大 助

ほかに委員等：4名 オンラインにて会議を実施

- 1) 動画「クマジロウの教えてドボコン」を10編製作。

3-4 ひろがる仕事の風景プロジェクト ひろがるインフラWG

WGリーダー 松 井 幹 雄

ほかに委員：15名 オンラインにて会議を実施

- 1) インタビュー動画「橋のある風景...そこに愛はあるのか...」を製作

3-5 ひろがる仕事の風景プロジェクト 仕事の風景探訪WG

WGリーダー 岡 田 智 秀

ほかに委員：9名 オンラインにて会議を実施

- 1) 地方都市の再生やまちづくり等を取材（10事例）

3-6 ひろがる仕事の風景プロジェクト D & I カフェトークWG

WGリーダー 竹之内 綾子

ほかに委員：2名 オンラインにて会議を実施

- 1) D&Iカフェトーク（教育企画部門）とのコラボや会長特別対談「特別編」の動画を製作

3-7 学会のDXプロジェクト

WGリーダー 工 藤 修 裕

ほかに委員：2名

- 1) 学会で使用しているシステムやホームページへの改善提案を要請。

【コミュニケーション部門】

4. 土木広報センター

センター長 小 松 淳

センター次長 奥 田 晃 久 松 田 光 弘 高 橋 良 和

ほかにグループ長、センター員、オブザーバー等：13名 センター会議：3回

- 1) 土木広報戦略の検討・立案
- 2) ニュースリリースの配信および記者会見の運営・協力、ニュースレターの発行、各種取材対応
- 3) 「土木の日」広告の掲載（R6. 11. 18 日刊スポーツ）
- 4) 土木界、土木学会支部や各委員会行事への取材および協力（オンライン配信や動画制作への対応含む）
- 5) 土木学会ロビー展示（「第30回地下空間シンポジウム」ポスター展示、第17回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール、令和6年度土木学会選奨土木遺産一覧、竹中土木「土木の日ポスター」展示等）
- 6) 土木学会ロビー動画放映（土木学会公式プロモーション動画「Join us!」、土木コレクション2024プロモーション動画、2024年度会長プロジェクト動画「クマジロウの教えてドボコン!」）

4-1 ドボクのラジオグループ

グループ長 松 田 光 弘

ほかにグループ員：4名 委員会：18回

- 1) 中央エフエムにおける番組「ドボクのラジオ」の企画・運営・出演（R6.4.11～R7.2.27 全53回収録）
- 2) ドボラジサポーターのキャリア・ナビゲーション社との共催で学生向けイベント「ドボクnight Café」を開催

4-2 土木学会tvグループ

グループ長 小 松 淳

ほかにグループ員：4名

- 1) 土木学会公式YouTube「土木学会tv」の企画・運営・出演・配信
- 2) インフラ解説動画の質問内容の検討、収録ならびに編集作業

4-3 from DOBOKU グループ

委 員 長 松 永 昭 吾

副 委 員 長 小 川 慎太郎

幹 事 長 田 中 尚 人

ほかに委員、委員会顧問：21名 委員会：4回 収録：12回

- 1) “土木偏愛note” 土木WEB情報誌「from DOBOKU」の企画・編集・公開
- 2) 「土木学会tv」での「土木学会誌チャンネル」の撮影・編集・公開

4-4 土木リテラシー促進グループ

グループ長 鈴 木 三 馨

ほかにグループ員：7名 行事：3回 委員会：9回

- 1) 土木偏愛note「from DOBOKU」に「土木スーパースター列伝」を連載
- 2) 毎日新聞ソーシャルアクションラボに「水を治める 先人たちの決意と熱意、技術に学ぶ」を連載
- 4) 全国土木弁論大会2024「ことばの講座（R6.5.24）」「有馬優杯（R6.7.9）」を実施
- 5) 台湾土木遺産視察ツアー「烏山頭水庫と台南水道」を実施（R6.12.5～8）

4-5 土木の魅力グループ

グループ長 川 上 佐 知

ほかに幹事、オブザーバー：10名 行事：1回 委員会：3回

- 1) 「オープンキャンパス土木学会2024」（R6.7.20）を土木会館にて開催

4-6 若手パワーアップグループ

委 員 長 三 木 拓 也

副 委 員 長 中 島 裕 樹

幹 事 長 瀬 尾 智 也

ほかに委員：21名 委員会：3回

- 1) ボケドボを用いた出前授業を小学校で実施
- 2) インフラツーリズムを開催し、YouTubeで情報配信
- 3) その他、若手の視点で土木の発展のための活動を計画、実施

4-7 インフラパートナーグループ

委 員 長 三 村 昇

幹 事 長 田 中 努

ほかに委員：11名 委員会：12回

- 1) インフラパートナー（18団体）に現状把握のためのアンケートを実施（8月）
- 2) インフラパートナーの活動紹介をHPに掲載
- 3) 「土木と市民社会をつなぐフォーラム」のfacebookにてグループの活動紹介

4-8 未来の土木コンテストグループ

グループ長 高 橋 良 和

幹 事 長 井 上 和 真

ほかにグループ員、幹事、オブザーバー：11名 委員会：4回

- 1) 「未来の土木コレクション2025」の開催準備のための活動

4-9 土木の日事業グループ

グループ長 小 松 淳 副 幹 事 長 真 田 純 子

ほかに委員会顧問、グループ員、コアメンバー：15名 委員会：5回

- 1) 「土木コレクション2024」(R6. 11. 21～23)を新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催
- 2) 「ドボコレミュージアム」(R3. 11. 18スタート)をWeb公開

4-10 市民普請グループ

幹 事 長 中 村 圭 吾 副 幹 事 長 真 田 純 子

ほかに幹事：7名

5. 土木広報戦略会議

委 員 長 小 山 宏

副 委 員 長 鎌 田 敏 郎 木 村 嘉 富 津 高 守 松 野 篤 二

幹 事 長 奥 田 晃 久 代 表 幹 事 小 松 淳

ほかに委員会顧問、委員、委員兼幹事、オブザーバー：44名 戦略会議：1回

- 1) 土木界が一体となって取り組む広報戦略の検討
- 2) Webサイト「土木i」の運営
- 3) 令和六年度「土木の日」および「くらしと土木の週間」の実施

6. 土木広報連絡会

委 員 長 小 山 宏

副 委 員 長 鎌 田 敏 郎 木 村 嘉 富 津 高 守 松 野 篤 二

幹 事 長 奥 田 晃 久 代 表 幹 事 小 松 淳

- 1) 土木学会内の各組織、各支部の広報活動の連携

7. 土木学会誌編集委員会

委 員 長 堀 田 昌 英

副 委 員 長 岩 崎 広 江 瀬 尾 弘 美

幹 事 長 西 岡 英 俊

副 幹 事 長 浦 田 淳 司 川 口 暢 子

ほかに委員および特別委員：58名 委員会：12回 企画会議：12回

- 1) 土木学会誌第109巻第4号(2024年4月号)～第110巻第3号(2025年3月号)の月刊12冊の企画・編集・発行の検討
- 2) 土木学会誌第108, 109巻の表紙に用いた山崎エリナ氏による写真とエッセイのパネル製作(土木学会公益増進資金予算にて実施)と展示貸出(2024年9月土木学会全国大会, 2024年11月110周年記念パーティー等)
- 3) 土木学会誌(年間発行総部数：472,460部、年間発行総頁数：900頁)の発行

【国際部門】

8. 国際戦略委員会

委 員 長 塚 原 健 一

幹 事 長 北 直 紀

ほかに委員および顧問：23名

・委員会：国際センター運営委員会と連携

- 1) 「土木学会国際戦略」に基づいた土木学会の国際活動に関する施策・方針の検討
- 2) 全国大会国際関連行事の企画および対応

9. 国際センター

セン タ ー 長 木 村 亮

セン タ ー 長 代 行 兼 次 長 七 條 牧 生

センター次長 八 尾 光 洋 小 泉 幸 弘 納 多 勝
樋 口 嘉 章 増 田 達 伊 澤 良 則

幹部および運営会議：6回 協定学協会および海外分会対応：6回オンライン

- 1) 「土木学会の国際戦略」に基づいた具体的活動の検討、実施
- 2) 国際交流（Ⅲ. 本部行事 4. および 5.）対応
- 3) 産官学の連携を基盤とする海外協力協定締結学協会との交流促進
- 4) 国内関係機関との連携と協働
- 5) 海外分会員、海外在住者および外国人会員サービスの向上、「アソシエイメンバー」の促進
- 6) 全国大会国際関連行事の企画および対応
- 7) 国際センターの主要行事（全国大会国際関連特別講演会、二国間・多国間交流、「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」、「技術基準の国際化セミナー」、「インターナショナルサマーシンポジウム・グローバルシビルエンジニアワークショップ」、留学生対象企業説明会、「出前講座」、外国人技術者・留学生支援活動等の企画・運営）
- 8) アジア土木協会連合協議会 の活動
- 9) 2022 年度会長特別委員会小委員会継続支援
 - ・土木技術者の国際化実践小委員会 委員長 小 沼 恵 太 郎
 - ・国際展開プロジェクト形成小委員会 委員長 七 條 牧 生

9-1 情報グループ

グループリーダー 橋 本 勝 文

ほかに委員：6名 幹事会：4回（ハイブリッド形式）

- 1) 「国際センター通信」（和文・英文）の企画、編集、発行（12回）とメーリングリストによる配信
- 2) 土木学会誌「国際センターだより」編集
- 3) 英文ホームページ運営（情報更新）
- 4) 英語版 Facebook 他 SNS ツール、YouTube、note の管理運営、情報発信
- 5) 広報センターとの情報共有と情報発信
- 6) アソシエイトメンバーの促進

9-2 国際交流グループ

グループリーダー 七 條 牧 生

ほかに委員：8名 グループ会議：6回（オンライン）

- 1) 海外協力協定締結学協会年次大会への参加・話題提供、共同企画運営
- 2) 産官学連携をベースとする二国間・多国間交流活動強化
- 3) 土木学会海外分会や調査研究委員会との連携を図り、現地協定学協会、関連組織とのジョイント活動の企画と実施、人的ネットワーク形成、技術交流の促進
- 4) アソシエイトメンバーの促進

9-3 教育グループ

グループリーダー 納 多 勝

ほかに委員：9名 グループ会議：3回（ハイブリッド形式）

- 1) 「出前講座」、「技術者ラウンジ DOBOKU」の企画運営
- 2) 国際的人材育成に資する企画実施
- 3) 外国人技術者支援（留学生、プロジェクト、外国人技術者各グループとの連携企画等）

9-4 留学生グループ

グループリーダー 党 紀

ほかに委員：13名 グループ会議：12回（ハイブリッド形式）

- 1) インターナショナルサマーシンポジウム・グローバルシビルエンジニアワークショップの企画実施
- 2) 留学生向け企業説明会・現場見学会の企画実施
- 3) 留学生・卒業生ネットワーク形成支援、アソシエイトメンバーの促進

9-5 プロジェクトグループ

グループリーダー 鈴木 勝

ほかに委員：13名 グループ会議：5回（ハイブリッド形式）

- 1) 「世界で活躍する日本土木技術者シリーズ」講演会の企画実施
- 2) 「技術基準の国際化」シンポジウムの企画実施
- 3) 「国際貢献インフラアーカイブス」の企画実施
- 4) 教育グループ連携活動

9-6 外国人技術者グループ

グループリーダー 伊 澤 良 則

ほかに委員：10名 グループ会議：4回（ハイブリッド形式）

- 1) 留学生支援活動の企画実施
- 2) 外国人技術者支援活動の企画実施
- 3) 留学生や外国人技術者員に関する情報収集・発信
- 4) 留学生や日本で働く外国人技術者の課題抽出と対応策提案
- 4) 留学生グループ連携企画実施

10. 学術交流基金管理委員会

委員長 塚 原 健 一 幹事長 石 坂 哲 宏

ほかに委員：5名 委員会7回

- 1) 学術交流基金の助成改革取り纏め
- 2) 「公益信託土木学会学術交流基金」助成事業の選考
- 3) スタディーツアーグラント助成事業の企画運営
- 4) ジョイントセミナー、ACECC 交流活動、海外拠点形成・活性化事業への助成の対応
- 5) 「公益信託土木学会学術交流基金」運営委員会協力
- 6) 国際センター連携・運営会議参加

11. アジア土木学協会連合協議会担当委員会

委員長 加 藤 浩 徳 副委員長 井 澤 淳、大 原 美 保

幹事長 井 上 雅 志

ほかに委員、委員会顧問および幹事他：19名 委員会兼幹事会：3回

- 1) アジア土木学協会連合協議会（ACECC）支援協力
- 2) ACECC 第47、48回 ECM（Executive Committee Meeting）会議参加
- 3) 防災、スマートコンストラクション、インフラ維持管理モニタリング、AI 教育に関する技術委員会（TC）、若手技術者フォーラム（FLF）の活動支援
- 5) ACECC 賞選考・運営支援
- 6) ACECC 加盟国増強支援

【教育企画部門】

12. 教育企画・人材育成委員会

委員長 鈴木素之 副委員長 手計太一
幹事長 永野博之 副幹事長 江本久雄
委員：13名、委員兼幹事：8名 委員会：1回 メール審議：1回

- 1) 2024年度予算・2024年度小委員会活動計画
- 2) 「教育」に関する調査・研究活動へ注力するための委員会体制の見直し
- 3) 土木学会略史（教育企画・人材育成委員会）の編集

12-1 大学・大学院教育小委員会

委員長 伊代田 岳 史 幹事長 吉田 亮
ほかに委員：10名 委員会：1回

- 1) 学部卒業生と大学院修了生の違いに関するアンケート調査分析と結果の公表
- 2) コロナ禍における大学・大学院の授業実態に関するアンケートの分析と結果の公表
- 3) CPDと大学講義の連携に関して

12-2 高等専門教育小委員会

委員長 辻子 裕 二 幹事長 角野 晴 彦
副委員長 土田 俊 行 副委員長 八田 茂 実
副委員長 目山 直 樹
ほかに委員：5名 委員会：2回（メール会議1回、オンライン会議（兼審査会）1回）

- 1) 2024年度土木教育賞の表彰（2025年3月）5名
- 2) webページによる広報（今後学会サーバに移植予定）
- 3) 建設技術研究委員会との意見交換（web会議） 1回
- 4) 建設技術研究委員会との連携事業1：オンライン見学会（2024年11月14日） 1回
- 5) 建設技術研究委員会との連携事業2：出前授業（2024年12月12日） 1回

12-3 高校教育小委員会

委員長 河野 幸 浩 幹事長 鈴木 良 孝
ほかに委員：14名 委員会：2回

- 1) 全国高等学校土木教育研究会、西日本高等学校土木教育研究会、東日本高等学校土木教育研究会（土木系学科を有する高等学校の研究会）との連携
- 2) 令和6年度 第55回夏期講習会「夢洲から見える未来社会 ～大阪・関西万博を中心として～」開催
- 3) 委員構成の見直し

12-4 キッズプロジェクト検討小委員会

委員長 江守 央 幹事長 田中 岳
副幹事長 上野山 直 樹
ほかに委員、幹事、およびオブザーバー：12名 委員会：1回

- 1) 小中学校における学習（教科）支援の蓄積と教材づくりの検討と実施
- 2) 地域こどもイベント等への参画と実施
- 3) 出前授業経験者の発掘調査

12-5 成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

委員長 黒田 武 史 幹事長 澁谷 容 子
ほかに委員：14名 委員会：6回

- 1) シビルエンジニアの定年退職後の雇用および活動に関する企業アンケートのとりまとめ・分析・結果公表
- 2) シビルエンジニアの退職後の活動に関する個人アンケートのとりまとめ・分析・結果公表
- 3) 小委員会独自のnoteにおける各種活動成果発信：過去インタビュー記事（シニアに学ぶ『退職後の輝き方』）

の委員コメント付き再掲載、委員による『委員会裏話』『現役世代×退職後』の発信、CVV(Civil Veterans & Volunteers)とのコラボ企画ほか、土木学会公式note・他小委員会と共同でマガジンを運営

12-6 「土木と学校教育会議」検討小委員会

委員長 藤井 聡 幹事長 田中 皓介

ほかに委員兼幹事、オブザーバー：17名 委員会：2回

- 1) 第16回土木と学校教育フォーラム〈ダイバーシティ&インクルージョンのための「まちづくり・地域づくり」教育〉の企画と開催

12-7 土木技術者の質保証調査小委員会

委員長 鷲見 浩一 幹事長 中村 倫明

ほかに委員：10名 委員会：2回, WG：1回

- 1) 土木技術者として備えるべき知識・能力体系について整理
- 2) 学協会における大学・大学院教育の分野別質保証の取り組み状況について整理
- 3) 高等教育機関向けアンケートの企画・実施・振り返り
- 4) 土木技術者として求められる高大接続について整理

12-8 教育論文編集部会

委員長 皆川 浩 幹事長 菊 雅美

ほかに委員：4名 委員会：1回 メール審議：7回

- 1) 教育企画・人材育成委員会と土木学会論文集編集委員会教育企画・人材育成編集小委員会との連絡および調整
- 2) 土木学会論文集の掲載カテゴリー「土木工学における人材育成と教育」の広報活動

13. ダイバーシティ・アンド・インクルージョン（D&I）推進委員会

委員長 山田 菊子 副委員長 米山 賢

幹事長 竹之内 綾子 副幹事長 青木 真利子

ほかに委員：20名、顧問1名 委員会：3回

- 1) 令和6年度全国大会共通セッション「D&I」の開催
- 2) 令和6年度全国大会研究討論会「土木D&I 2.0 女性技術者活躍の現在位置とこれから— 土木D&I の歴史と未来 —」を開催
- 3) JSCE2020 中期重点目標達成プロジェクト「土木D&I 2.0 にむけた活動の場とツールをつくる」の推進と広報（リーフレット vol.1.5「トンネル工事と女性」を発行）
- 4) 「D&I カフェトーク」のライブ開催とアーカイブ配信（2024年度18回、累計73回・特別編1回）
- 5) 会長特別プロジェクト「D&I 行動宣言フォローWG」に参加、D&I 行動宣言改定案を作成、D&I 勉強会開催3回

14. 大学院博士課程人材活用検討特別委員会

委員長 岸田 潔 幹事長 高橋 良和

ほかに委員、幹事：10名 委員会：4回 幹事会：4回

- 1) 博士課程出身者が十分な評価・待遇のもとで活躍できる環境の構築に向けた議論と調査の企画
- 2) 博士取得者に対するアンケートの実施と分析
- 3) 採用担当責任者に対するインタビューの実施

【社会支援部門】

15. 災害緊急調査団派遣等

16. 司法支援特別委員会

委員長 勝見 武 幹事長 中野 正樹

ほかに委員、幹事：7名

- 1) 最高裁判所の要請に基づいて、土木関連分野民事訴訟における専門委員の推薦を実施

17. 減災・防災委員会

委員長 岡 安 章 夫

副委員長 小 林 稔 佐 藤 慎 司 堀 智 晴

幹事長 塚 原 健 一 副幹事長 中 村 光

ほかに委員：16名

- 1) 安全かつ自律的で持続的な自然災害に強いしなやかな国土の創出に関連する問題の研究、調査
- 2) 研究、調査成果の社会実装のための、国及び地方の行政機関並びに市民団体、地域社会と連携した活動
- 3) 安全かつ自律的で持続的な自然災害に強いしなやかな国土の創出に関連する国内及び国外の学協会関係機関との研究連絡
- 4) 発災時での学会内および関連機関との連携組織の構築と維持・運営

17-1 緊急対応マネジメント小委員会

委員長 松 田 泰 治

ほかに委員：6名

- 1) 災害派遣に関する手順や基本ルールの整理

17-2 減災社会システム構築小委員会

委員長 奥 村 誠

ほかに委員：20名

18. インフラメンテナンス総合委員会

委員長 佐 々 木 葉

副委員長 久 田 真

委員兼幹事長 岩 波 光 保

ほかに顧問：4名 委員：23名 支部委員：7名 委員兼幹事：16名

委員会1回

- 1) インフラの維持管理・更新・マネジメントに関連する問題の研究、調査
- 2) インフラの維持管理・更新・マネジメントに係る国内および国外の学協会関係機関との研究連絡

18-1 アクティビティ部会

部会長 岩 城 一 郎

ほかに委員：21名

- 1) 各小委員会と連携しシンポジウムなどを企画し啓発・発信や市民協働活動の推進

18-2 知の体系化小委員会

委員長 津 吉 毅

幹事長 長 山 智 則

ほかに委員：21名 委員会：2回

- 1) 他分野・異分野の知の融合と教材開発

18-3 健康診断小委員会

委員長 中 村 光

幹事長 秋 山 充 良

ほかに委員：18名 幹事：18名 顧問：2名 メールにて審議

- 1) 社会インフラ健康診断の実施と診断結果の公表・解説

18-4 新技術適用推進小委員会

委員長 木 村 嘉 富

幹事長 新 井 崇 裕

ほかに顧問3名 委員：19名 副幹事長：2名 委員兼幹事：6名 小委員会：1回

- 1) 新技術の社会実装の推進

18-5 インフラメンテナンス表彰小委員会

委員長 伊勢 勝 巳 副委員長 塚 田 幸 広
委員兼幹事長 吉 田 斉 正
ほかに委員：10名 委員兼幹事：4名 委員会：3回

- 1) インフラメンテナンス表彰制度の運用

18-6 インフラメンテナンス実践研究論文集編集小委員会

委員長 玉 井 真 一 副委員長 津 野 和 宏
委員兼幹事長 津 田 誠
ほかに委員：14名 委員兼幹事：4名 委員会：5回

- 1) インフラメンテナンス実践研究論文集の論文公募と査読審査の管理

19. 豪雨対策総合検討会

委員長 家 田 仁 幹事長 塚 原 健 一
ほかに委員：15名 委員兼幹事：6名 WG：1回

- 1) 頻発化する豪雨災害に対応する対策を継続的かつ総合的に検討

20. 地盤の課題と可能性に関する総合検討会

委員長 上 田 多 門 幹事長 木 村 亮
ほかに委員：17名 委員兼幹事：4名

- 1) 地盤の問題と可能性について俯瞰的に検討
- 2) 他分野・異分野との意見交換

【調査研究部門】

21. 研究企画委員会

委員長 鎌 田 敏 郎 幹事長 二 瓶 泰 雄
ほかに委員：11名 委員兼幹事：2名 委員会：6回

- 1) 令和6年度委員会活動度の評価
- 2) 令和7年度 重点研究課題（研究助成金）の募集および審査
- 3) 委員会活動度評価要領の見直しに伴う関係要領の改正の検討

22. コンクリート委員会

委員長 岸 利 治 幹事長 細 田 暁
ほかに顧問：7名 常任委員：42名 委員：18名 常任委員兼幹事：6名
委員会：1回 常任委員会：6回 幹事会：6回 第3種小委員会連絡会議：1回

- 1) コンクリートに関する調査研究を実施
- 2) コンクリート関係の小委員会及び受注の調査研究を実施
- 3) コンクリート標準示方書改訂版を発行・講習会を実施

22-1 示方書改訂小委員会

委員長 下 村 匠 副委員長 津 吉 毅
幹事長 牧 剛 史
ほかに顧問：4名 委員：31名 委員会：2回

- 1) コンクリート標準示方書改訂について検討を行う
- 2) 全体の改訂方針や新しい構成に関する検討を行っている

22-2 規準関連小委員会

委員長 上 野 敦 幹事長 蔵 重 勲

ほかに委員および幹事：28名 委員会：4回

- 1) コンクリート標準示方書〔標準編〕の次期改訂に向けた土木学会規準の見直し、ならびにコンクリート関連のJISおよび関連規準の制定・改訂状況の調査
- 2) 土木学会規準の新規制定に関する審議
- 3) 土木学会規準に関するユーザーからの問い合わせへの対応

22-3 コンクリート教育研究小委員会

委員長 千々和 伸 浩

ほかに委員：9名 委員会：5回 他にメールにて審議

- 1) コンクリートに関する学校・社会での教育のあり方についての検討や、関連する座談会の実施

22-4 土木材料実験指導書編集小委員会（出版部門）

委員長 上 野 敦 幹 事 吉 田 亮

ほかに委員および幹事：9名 委員会：2回

- 1) 土木材料実験指導書の改訂および編集

22-5 国際関連小委員会

委員長 長 井 宏 平 幹 事 長 三 浦 泰 人

ほかに委員および幹事：11名 委員会：4回 他にメールにて審議

- 1) 国内外研究者によるセミナー（FCTセミナー）や海外学会等とのジョイントセミナーに関する検討・実施
- 2) NEWS LETTERを発刊・発信（国内外合わせて約3,300件に年3回発信）

22-6 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会

委員長 齊 藤 成 彦 幹 事 長 牧 剛 史

- 1) 技術推進機構の「数値解析認証制度」に基づき、認証評価の具体的な審議、判定を行う
- 2) 当該制度への申請があった時点で委員を選定、委嘱し、機構内に設置される技術評価委員会へ委員を派遣

22-7 コンクリート構造物の品質確保・長寿命化対策検討小委員会

委員長 細 田 暁 幹 事 長 半 井 健一郎

副幹事長 加 藤 佳 孝

ほかに委員：35名 委員会：3回

22-8 改訂による歴代示方書の変遷と今後の方向性に関する検討小委員会

委員長 岸 利 治 副委員長 玉 井 真 一

幹事長 細 田 暁 副幹事長 半 井 健一郎

ほかに委員および幹事：17名 委員会：3回

- 1) 示方書の設計編と施工編の適切な連係について、歴代示方書の変遷を分析し、今後の方向性のための議論を実施する

22-9 示方書連絡調整小委員会

委員長 半 井 健一郎 幹 事 長 浅 本 晋 吾

ほかに委員および幹事：36名 委員会：2回

- 1) 過去の示方書改訂に関するインタビュー方法、インタビューの人選の検討

22-10 カーボンニュートラルに向けたコンクリート構造物のあり方に関する研究小委員会

委員長 伊代田 岳 史 幹 事 長 永 元 直 樹

ほかに委員および幹事：18名 委員会：2回

- 1) カーボンニュートラルに関する土木技術者の意識醸成のため、「カーボンニュートラルに資する土木構造物の在り方に関するパネルディスカッション」を土木学会行事として開催。約500名の参加申し込みあり。

22-11 表面保護工法設計施工指針改訂小委員会（受託研究）

委員長 小林 孝一 幹事長 佐川 康貴

ほかに委員および幹事：62名 委員会：1回

- 1) 2005年4月刊行の「表面保護工法設計施工指針(案)」の改訂方針の検討
- 2) 近年の各種補修材料・工法の動向、補修設計方法、長期物性等に関する調査

22-12 建設用3Dプリンターによる埋設型枠設計・施工に関する研究小委員会(受託研究)

委員長 石田 哲也 副委員長 建山 和由

幹事長 國枝 稔

ほかに委員および幹事：34名 委員会：2回

22-13 暑中コンクリートの設計・施工指針に関する研究小委員(受託研究)

委員長 細田 暁 副委員長 上東 泰

幹事長 橋本 紳一郎

ほかに委員：45名 全体委員会：2回

- 1) コンクリートライブラリー167：暑中コンクリートの計画・設計・施工指針(案)を発刊した
- 2) 3/13(木) 13:30から指針(案)の講習会を土木学会大会議室(四ツ谷)で開催した

22-14 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会

委員長 中村 光 副委員長 牧 剛史

幹事長 渡辺 健

ほかに委員：28名 委員会：1回

- 1) 部材詳細に関する知見や技術を系統的に整理しコンクリート構造物の設計法や照査法に関して検討した
- 2) 「コンクリート技術シリーズ135 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会(第2期)」を発行・講習会を2024年6月に実施した

22-15 プレストレストコンクリート黎明期に建設された茂喜登牛水橋の解体調査研究小委員会

委員長 石田 哲也 幹事長 鍵本 広之

ほかに委員および幹事：42名 委員会：3回

- 1) 凍害危険度5に相当する地域にて長年月供用されたPC橋(茂喜登牛水橋)の解体に合わせた調査・研究を行う
- 2) 報告書の発刊ならびに報告会、シンポジウムを開催(2024.7.4：土木学会講堂・Web併用)

22-16 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究小委員会

委員長 小澤 満津雄 幹事長 子田 康弘

ほかに委員および幹事：17名 委員会：1回

- 1) 本委員会で得られた成果を報告書にまとめた
- 2) 今年度3月に報告会をウェビナーで実施

22-17 地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価研究小委員会

委員長 高橋 良輔 幹事長 坂口 淳一

ほかに委員および幹事：19名 委員会：5回

- 1) 近年の耐震技術に関する委員からの話題提供および課題抽出と整理
- 2) 高知工科大・島弘教授へ303委員会・329委員会当時についてインタビューを実施

22-18 コンクリート中の鋼材腐食に対する設計と維持管理技術研究小委員会

委員長 小林 孝一 副委員長 山口 明伸

幹事長 皆川 浩

ほかに委員：47名 委員会：1回

- 1) 鋼材腐食に対するコンクリート構造物の照査、劣化が生じた場合の力学性能の評価、および実態に基づく新しい補修設計について、調査、検討を行う

22-19 コンクリートの打込みに関わる品質の定量的評価に関する研究小委員会

委員長 加藤 佳孝 副委員長 蔵 重 勲
幹事長 桜井 邦昭

ほかに委員および幹事：38名 委員会：1回，他に幹事会3回，WG12回

- 1) コンクリートの打込みに関する3つのWG活動（WG1：フレッシュコンクリートの状態の定義，WG2：評価方法の検討，WG3：コンクリートの選択の方法・考え方の整理）を実施

23. 水工学委員会

委員長 泉 典 洋 幹事長 佐 山 敬 洋

ほかに顧問、委員および幹事：54名 委員会：3回

- 1) 水工学に関する調査研究を実施
- 2) 研究小委員会・部会において調査研究活動、研究集会、シンポジウムを開催
- 3) 「第69回水工学講演会」を開催し、水工学論文集を編集・発刊
- 4) 「水工学オンライン連続講演会」を開催
- 5) 「第59回水工学に関する夏期研修会」を開催し、講義集を編集・発刊
- 6) 「第27回水シンポジウム2024in ながの」を開催

23-1 水文部会

部会長 市 川 温 副部会長 鈴 木 善 晴

ほかに委員：28名 部会：2回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 水文研究集会を実施

23-2 基礎水理部会

部会長 高 橋 正 行 副部会長 溝 口 敦 子

ほかに委員、アドバイザー：39名 部会：3回

- 1) ワーキンググループによる調査研究及び見学会を実施
- 2) 「基礎水理シンポジウム2024」の実施

23-3 環境水理部会

部会長 赤 松 良 久 副部会長 新 谷 哲 也

ほかに委員、オブザーバー：52名 部会：2回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 環境水理部会研究集会を実施

23-4 河川部会

部会長 内 田 龍 彦

副部会長 瀬 崎 智 之 堀 江 克 也

ほかに委員：36名 部会：4回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 河川技術論文集を編集・発刊
- 3) 河川技術論文賞の選考・授与
- 4) 「2024年度 河川技術に関するシンポジウム」の実施

23-5 土木学会論文集特集号（水工学）編集小委員会

委員長 泉 典 洋

編集幹事長 小 田 僚 子

ほかに委員および幹事：68名 小委員会：3回 幹事会：2回

委員長 戸田 祐嗣 幹事長 溝口 敦子

ほかに委員：19名 小委員会：1回 幹事会：1回 WG：3回

- 1) 「堤防の侵食に対する安全性評価のための技術検討フレーム」公表
- 2) 意見交換、現地視察の実施

23-15 水理・水文統計解析研究小委員会

委員長 風間 聡 幹事長 小林 健一郎

ほかに委員：31名

水工学オンライン連続講演会にて講演

3つのTaskに分けた活動の実施

24. 構造工学委員会

委員長 中村 聖三 副委員長 秋山 充良

ほかに幹事および委員：66名 委員会：2回

- 1) 構造工学に関する調査研究を実施
- 2) 構造工学論文集を編集作成
- 3) 「構造工学シンポジウム」を共催
- 4) 日本学術会議関連研究連絡委員会（構造工学等）に協力
- 5) 構造工学関係小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進
- 6) ISO 等国際標準機構の構造工学関連規定の検討に対応
- 7) 構造工学関連技術者資格および継続教育プログラムの開発に対応
- 8) 構造工学セミナーを実施

24-1 運営幹事会

委員長 中村 聖三 副委員長 秋山 充良

ほかに委員：15名 委員会：5回

- 1) 委員会、各小委員会等の運営、活動方針につき審議、検討を実施
- 2) 各小委員会（研究・連絡・出版関係）の今後の運営等につき検討

24-2 継続教育小委員会

委員長 車谷 麻緒 幹事長 井上 洋

ほかに委員：7名 委員会：2回

- 1) 構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会の開催
- 2) 施工計画講習会の開催

24-3 国際教育小委員会

委員長 野阪 克義 幹事長 長井 宏平

ほかに副委員長：1名 委員会：1回

- 1) 性能設計法や維持管理に関するコンテンツの整理
- 2) テキスト作成、ならびに技術交流や教育活動

24-4 次世代教育小委員会

委員長 松村 政秀 幹事長 大谷 友香

ほかに副委員長：6名 委員会：2回

- 1) 中学生・高校生向け公開講座（出張講義）
- 2) 体験型実験模型の貸し出し

24-5 構造工学論文集編集小委員会

委員長 深田 宰史 幹事長 玉井 宏樹

ほかに委員および幹事：58名 委員会：3回

- 1) 構造工学論文集の審査、査読を実施
- 2) 構造工学シンポジウムの企画・運営

24-6 橋梁年報編集小委員会

委員長 中藤 誠二 幹事長 茂呂 充

ほかに委員および幹事：13名 委員会：2回

- 1) 橋梁年報「橋 BRIDGE IN JAPAN」の編集

24-7 AI・データサイエンス論文集編集小委員会

委員長 全 邦 釘 幹事長 党 紀

ほかに委員および幹事：12名

- 1) AI データサイエンス論文集の発刊
- 2) AI データサイエンスシンポジウムおよび、デジタルツインシンポジウムの開催

24-8 構造物安全性連絡小委員会

委員長 北 原 武 嗣 幹事長 松 崎 裕

ほかに委員および幹事：13名

- 1) 各種国際会議における構造物の安全性・信頼性に関する研究動向についての情報収集
- 2) 構造安全性・信頼性に関連した会議情報や研究動向についての発信

24-9 耐風工学連絡小委員会

委員長 中藤 誠二 幹事長 長谷部 寛

ほかに委員および幹事：34名

- 1) 「風工学シンポジウム」の開催に協力
- 2) 構造物の耐風工学・耐風設計に関する情報交換

24-10 鉄道工学連絡小委員会

委員長 亀 田 敏 弘 副委員長 古 川 敦

幹事長 小 林 宏 基

ほかに委員および幹事：28名 委員会：4回

- 1) 鉄道工学に関する調査研究の推進
- 2) 「鉄道工学シンポジウム」を開催

24-11 若手構造技術者連絡小委員会

委員長 田 村 洋 幹事長 三 浦 泰 人

ほかに委員および幹事：33名 委員会：2回

- 1) 産官学の若手技術者により次世代の構造工学のあり方を議論
- 2) 若手構造技術者の交流や構造工学分野の活性化に資する活動を企画

24-12 衝撃問題連絡小委員会

委員長 別 府 万 寿 博 幹事長 栗 橋 祐 介

ほかに委員および幹事：12名 委員会：3回

- 1) 構造物の衝撃問題に関して国内外の情報収集および情報発信
- 2) 構造物の衝撃問題に関するシンポジウムの開催

24-13 土木構造物共通示方書改訂小委員会

委員長 中 村 光 幹事長 中 村 聖 三

ほかに委員および幹事：44名

- 1) 「土木構造物共通示方書」改訂版の発刊と講習会の実施

24-14 カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する研究小委員会

委員長 加藤 佳孝 幹事長 川端 雄一郎

ほかに委員および幹事：29名 委員会：2回

- 1) 土木構造物の構築に関する EC/WLC 算定に関する共通ルールの整理
- 2) 炭素排出量削減の観点からの土木構造物の設計の基本的考え方の提案
- 3) 「CN に向けた土木構造物の設計ガイドライン（案）」（仮称）の作成・公表

24-15 AI・データサイエンス実践研究小委員会

委員長 全 邦 釘 副委員長 阿部 雅人

ほかに委員および幹事：65名 委員会：4回

- 1) AI データサイエンスセミナーの実施
- 2) 構造工学分野において人工知能技術を活用し、新たな展開を見出すための検討

24-16 災害時の急速架設可能な緊急仮設橋に関する調査研究小委員会

委員長 森田 千尋 幹事長 小野 秀一

ほかに委員、顧問および幹事：27名 委員会：4回

- 1) 災害等の緊急時に使用が想定される、急速架設可能な緊急仮設橋についての研究
- 2) 緊急仮設橋の設計や施工の基準整備に向けた技術資料の作成

24-17 データ・情報・空間融合による次世代モニタリング・マネジメント研究小委員会

委員長 宮森 保紀 幹事長 北原 優

ほかに委員および幹事：19名 委員会：2回

- 1) 各種モニタリングデータの特性、新・旧モニタリングデータの標準化、計測における誤差について議論
- 2) 構造物の性能予測を実現するための目視点検、センサ情報と力学情報との融合方法について検討

24-18 示方書連絡会議対応小委員会

委員長 中村 光 幹事長 塩畑 英俊

ほかに委員および幹事：31名

- 1) 示方書共通化WGと設計の基本WGの2つのWG活動

25. 鋼構造委員会

委員長 山口 隆司 副委員長 春日井 俊博

幹事長 判治 剛

ほかに顧問、委員および委員兼幹事：85名 委員会：2回 幹事会：4回

- 1) 鋼構造に関する調査研究を小委員会により実施
- 2) 「橋に関するシンポジウム」を開催
- 3) 「鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～」を開催

25-1 鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 大垣 賀津雄 幹事長 小藤 輝正

ほかに委員および連絡幹事：12名 委員会：3回

- 1) 鋼構造基礎講座を開催

25-2 鋼・合成構造標準示方書総括小委員会

委員長 舘石 和雄 幹事長 北根 安雄

ほかに委員および幹事：43名 委員会：2回

- 1) 最新の研究成果を取り入れた、国際的に通用する標準示方書（鋼・合成構造標準示方書）の制定および改訂

25-3 海外交流小委員会

委員長 松本高志

ほかに委員および連絡幹事：7名

- 1) 国際交流を通じて海外の鋼構造技術を収集

25-4 歴史的鋼橋データの更新と活用に関する調査小委員会

委員長 中村一史 幹事長 神田恭太郎

ほかに委員および委員兼幹事：13名 委員会：2回

- 1) データベースへの追加項目、公開方法、活用方法に関する検討・審議
- 2) WG活動に関する検討・審議

25-5 鋼・合成構造標準示方書総則・設計編小委員会

委員長 村越潤 幹事長 野阪克義

ほかに委員および委員兼幹事：40名 委員会：2回

- 1) 鋼・合成構造標準示方書総則・設計編の改訂作業

25-6 鋼・合成構造標準示方書耐震設計編小委員会

委員長 後藤芳顕 幹事長 葛漢彬

ほかに委員および幹事：16名

- 1) 鋼・合成構造標準示方書耐震設計編の改訂作業および発刊

25-7 鋼・合成構造標準示方書施工編小委員会

委員長 穴見健吾

ほかに委員および幹事：8名

- 1) 鋼・合成構造標準示方書施工編の改訂作業および発刊

25-8 鋼・合成構造標準示方書維持管理編小委員会

委員長 貝沼重信 幹事長 清川昇悟

ほかに委員および幹事：11名 委員会：4回

- 1) 鋼・合成構造標準示方書維持管理編の改訂作業

25-9 鋼橋の補修・補強設計に関する調査研究小委員会

委員長 宮下剛 幹事長 塩竈裕三

ほかに委員：13名 委員会：4回

- 1) 既設鋼橋の合理的な補修・補強設計技術の調査
- 2) 補修・補強設計で想定する限界状態や部分係数設計法の考え方の整理
- 3) 部分係数の具体案とそれに基づく設計例を提示

25-10 鋼橋の診断小委員会

委員長 下里哲弘 幹事長 木ノ本剛

ほかに委員：22名 委員会：3回

- 1) 鋼橋の腐食損傷および疲労損傷の原因究明及び診断事例の収集・整理
- 2) 適切かつ信頼性のある診断技術の構築を目的とした診断技術の構築

25-11 鋼橋の構造性能照査における3次元有限要素解析の活用に関する検討小委員会

委員長 判治剛 幹事長 小糸秀幸

ほかに委員：19名 委員会：4回

- 1) 3次元データに基づく鋼橋の有限要素モデル化技術の整理
- 2) 3次元有限要素解析による鋼橋の耐荷性能評価法の検討
- 3) 3次元有限要素解析による鋼橋の疲労強度評価法の検討

- 4) V&V に関する調査と鋼橋に対する適用性の検討

25-12 新しい桁端構造に関する調査研究小委員会

委員長 柴 桃 孝 一 郎 幹事長 熊 野 拓 志

ほかに委員： 25 (連絡幹事 1 名含む。) 名 委員会： 2 回

- 1) 桁端部の損傷事例の調査・分析
- 2) 桁端部の補修補強等、対策事例の調査・分析
- 3) 桁端構造や伸縮装置等の基準・各種要領・便覧等の整理・分析
- 4) 既往の桁端および伸縮構造等の既往技術の調査・分析
- 5) 伸縮装置を含む桁端部要求性能の整理
- 6) 新技術および新構造の調査・分析・検討

25-13 鋼構造物における先進的非破壊検査・評価技術に関する調査研究小委員会

委員長 白 旗 弘 実 幹事長 木 本 和 志

ほかに委員： 名 委員会： 回

- 1) 鋼構造物における近年の非破壊検査やその評価技術に関する情報収集、従来手法や他の方法との利点、欠点などの比較検討
- 2) 各非破壊検査技術の原理、使用にあたる制約や法令、鋼構造物への適用条件の整理
- 3) 非破壊検査結果を用いた鋼構造物の性能評価プロセスや、実施事例収集と整理

25-14 高力ボルト摩擦接合継手の設計・施工・維持管理指針(案)改定小委員会

委員長 山 口 隆 司 幹事長 内 田 大 介

ほかに委員： 32 名 委員会： 1 回

- 1) 現行指針(案)の内容更新に関する調査・検討
- 2) 高力ボルト摩擦接合継手および当て板の限界状態とその照査法に関する検討
- 3) 補修・補強工事に関する基準や関連情報の検討

25-15 鋼構造物の素地調整に関する調査研究小委員会

委員長 貝 沼 重 信 幹事長 石 井 博 典

ほかに委員： 40 名 委員会： 3 回

- 1) 既設鋼構造物の素地調整に着目し、塗膜、金属溶射、耐候性鋼、CFRP 材の接着を対象とした各素地調整関連技術の鋼構造物への適用性、留意点や課題に加え、最新の知見や新技術などに関する情報を取り纏める。

25-16 今後の鋼構造研究のあり方に関する調査研究小委員会

委員長 長 山 智 則 幹事長 古 川 聖

ほかに委員： 12 名 委員会： 3 回

- 1) 他組織における同様の取り組みに対する調査・分析
- 2) ベテラン研究者・技術者による話題提供を通じた今後の鋼構造研究のあり方に関する調査
- 3) 調査・分析を通して、今後の鋼構造研究のあり方についての検討と提言発信

25-17 鋼構造物のサステナビリティ調査研究小委員会

委員長 水 口 和 之 幹事長 齊 藤 史 朗

ほかに委員： 18 名 委員会： 3 回

- 1) 各分野における CO₂ 削減の取り組みに関する事例収集
- 2) 鋼構造業界としての将来像の検討

26. 海岸工学委員会

委員長 森 信 人 副委員長 渡 部 靖 憲

幹事長 北 野 利 一

ほかに相談役、委員および幹事：53名 委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 海岸工学に関する調査研究、海岸施設の利用者の安全性に関する調査研究を実施
- 2) 「第71回海岸工学講演会（ハイブリッド）」と「APAC2023（ハイブリッド）」を開催
- 3) 「58回水工学に関する夏期研修会」を開催し、講義集を編集・発刊
- 4) 「日本海洋工学会」および「沿岸環境関連学会連絡協議会」との協力、連携
- 5) 「海洋開発委員会」、「水工学委員会」、「地球環境委員会」、「土木計画学研究委員会」等の他委員会との連携
- 6) 海岸工学委員会の活動の新しいステージに移行するため、4つの特命ワーキングを設置
- 7) 2024年能登半島地震津波調査とりまとめ（継続）

26-1 海岸工学論文編集小委員会

委員長 山城 賢 副委員長 中村 友昭

ほかに委員：34名 委員会：1回

- 1) 『土木学会論文集特集号（海岸工学）』の編集
- 2) 電子受付および査読での対応および編集体制の検討
- 3) 電子ジャーナル化の実施（J-STAGE への登録）

26-2 Coastal Engineering Journal 編集小委員会

委員長 内山 雄介 副委員長 有働 恵子

ほかに委員：41名 委員会：1回

- 1) 『Coastal Engineering Journal』のエディタの選任、応募論文の査読、編集作業を実施
- 2) Coastal Engineering Journal Award ならびに CEJ Citation Award の原案作成

26-3 沿岸域研究連携推進小委員会

委員長 遠藤 徹

ほかに顧問、委員：16名 委員会：1回

- 1) 沿岸域研究連携推進についての調査・研究

26-4 広報・出版・WEB 開催小委員会

委員長 鳴原 良典 副委員長 安田 誠宏

ほかに委員：12名 委員会：1回

- 1) 広報に関わる技術的業務、広報全般に関わる提案、検討、調整を担当する。
- 2) 講演会などのWEB開催を行う。
- 3) 海岸工学委員会のHPの掲載内容のアップデートを行う

26-5 沿岸まちづくりにおける経済学的手法検討小委員会

委員長 安田 誠宏 河野 達仁（土木計画学研究委員長）

ほかに委員：22名

- 1) 海岸工学委員会と土木計画学研究委員会の合同小委員会として、津波、高潮・高波を対象に、海岸整備とまちづくりを融合させた方法論の体系化を行う
- 2) 成果に関しては、報告書を作成し公表する

26-6 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会

委員長 越村 俊一 委員長 森 信人

ほかに委員、オブザーバー：60名

デジタルツインコンピューティングのパラダイムを海岸工学に導入することで新たな研究課題を探索するとともに、周辺の学術文化とも連携しながら、新たな海岸工学の地平を拓く。

26-7 波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会

主 査 宮 本 順 司

ほかに委員：24 名

- 1) 模型実験に限定せず、数値解析の適用も議論して、波動と地盤の複合場における現象の解明を目的とする

26-8 沿岸域における気候変動適応策に関する研究会

主 査 有 川 太 郎

ほかに委員：27 名

- 1) 沿岸域における気候変動における緩和・適応策の解決に向けて、港湾域、沿岸域におけるカーボンニュートラルと適応の両立について議論することを目的とする

26-9 波動モデル研究会

主 査 柿 沼 太 郎

ほかに委員：22 名

- 1) 研究集会「海洋・海岸等における波動のための様々なモデル」の実施

26-10 地域研究活性化 WG

主 査 中 下 慎 也

ほかに代表委員：4 名

- 1) 5 つの WG（瀬戸内海研究 WG、関西における今後の水域の防災および環境に関する研究 WG、東海における防災および環境研究 WG、北陸沿岸域研究 WG、九州の水域における防災・環境に関する研究 WG）を設置し、研究発表や勉強会を実施

26-11 サーバーセキュリティ対策特命ワーキング

主 査 川 崎 浩 司

ほかに委員：5 名

海岸工学委員会サーバー、メールアドレス・メーリングリストの管理・運用、海岸工学委員会 HP の技術的支援、新しいサーバーへの完全移行とメーリングリストの運用を広報・出版・WEB 開催小委員会に引き継ぐための時限的な対応を行っている。

26-12 海岸工学 2040 特命ワーキング

主 査 渡 部 靖 憲

ほかに委員 47 名

これからの海岸工学のフロンティアを見出すとともに、学会が考える研究の方向性を提示することを目的として、参加を募集し、これまでに意見収集を WEB で 2 回行い、海岸工学講演会の開催中にワーキングを開催し、今後のアウトプットの手段についても検討した。

26-13 海岸関連省庁との連携特命ワーキング

主 査 田 島 芳 満

- 1) 海岸関連省庁のミッションや現業、課題、ニーズを共有、2) 学会で取り組むべき研究課題やシーズについて議論、3) 官学産の(若手)技術者・研究者の交流促進・学会活性化を目的とし、「海岸工学懇談会」を今年度は 2 回開催した。

第一回：7 月 25 日(17:30~18:00)@国土交通省 中央合同庁舎 3 号館(ハイブリッド)参加者 47 名(対面は官 8 名、学 7 名)

第二回：10 月 25 日(14:00~18:00)@東京都第二高潮対策センター見学会(対面のみ 34 名)+懇談会(現地 36 名+オンライン 13 名)

26-14 海岸工学論文投稿査読新システム検討特命ワーキング

主 査 北 野 利 一

ほかに委員 5 名

海岸工学講演会の活性化と査読システムの老朽化対策（セキュリティ確保）のため、これまでの２段階審査を、講演会発表審査（要旨査読）と Jstage 論文掲載の論文審査に完全分離するとともに、それぞれの審査に応じたシステム構築を検討している。

26-15 2024 年能登半島地震津波調査とりまとめ（継続）

2024 年 1 月の 2024 年能登半島地震津波調査とりまとめを前年度から継続して行った。最終的には、Coastal Engineering Journal に統合調査解析結果、Nature Springer の Scientific Data にデータ論文を掲載し、調査結果の公開を行った。

27. 地震工学委員会

委員長 酒井久和 副委員長 高橋良和
幹事長 小野祐輔 副幹事長 阿部慶太
ほかに顧問 71 名、委員および幹事：118 名 委員総会：2 回 研究会：4 回 運営幹事会：7 回
他にメールにて審議

- 1) 地震工学に関する調査研究を実施
- 2) 地震工学に係る小委員会（共通小委員会、研究小委員会）において調査研究を実施
- 3) 地震工学委員会研究会の開催
- 4) 国内外の地震工学に関する活動状況の収集と公開

27-1 耐震基準小委員会

委員長 秋山充良 幹事長 武田篤史
ほかに委員：36 名 委員会：3 回 WG 会議：7 回 他にメールにて審議

- 1) 土木構造物の性能設計の普及と設計体系の再構成に関わる試行
- 2) 10 年後を見通した社会基盤施設の設計のあり方に関する基本的考え方を検討
- 3) ISO 23469 の改定作業
- 4) 東日本大震災、熊本地震等を踏まえて打ち出された危機耐性に関する研究課題への取り組み

27-2 地震防災技術普及小委員会

委員長 樋口俊一 副委員長 大竹省吾
幹事長 坂井康伸 副幹事長 山口直也
ほかに委員および顧問：26 名 委員会：6 回 他にメールにて審議

- 1) 社会基盤施設の耐震性向上及び地震防災性に優れた社会建設のために必要な知識・知見・思想、及び調査・研究成果など地震防災技術を、土木学会員を中心に広く普及させ、地震災害の軽減に貢献
- 2) 土木学会による実務者のための耐震設計入門セミナー（基礎編）および（実践編）、地震の地盤応答解析講習会、第24回地震災害マネジメントセミナー、「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法-ガイドラインとその実践事例-」に関する講習会、著名な学識者による懇話会、を開催
- 3) 「続・実務に役立つ耐震設計入門（実践編）」を出版（2024年11月発行）

27-3 地震被害調査小委員会

委員長 小野祐輔 副委員長 清田 隆
幹事長 後藤浩之
ほかに委員：27 名 メールにて審議

- 1) 国内外での地震発生時に、メールによる情報収集および調査団派遣の必要性の検討
- 2) 土木学会が収集した観測地震記録ダウンロードサイトの運営
- 3) 2023 年トルコ・シリア地震、令和 6 年能登半島地震の報告書執筆（2025 年度中に発刊予定）

27-4 地震工学論文集編集小委員会

委員長 庄司学 幹事長 奥村与志弘

副 幹 事 長 上 田 恭 平

ほかに委員：18名 委員会：2回

- 1) 第44回地震工学研究発表会の開催
- 2) 土木学会論文集 Vol. 80, No. 13 (特集号：地震工学) の発行
- 3) 土木学会論文集 Vol. 81, No. 13 (特集号：地震工学) の論文公募と査読審査の管理

27-5 国際化対応小委員会

委 員 長 吉 見 雅 行 副 委 員 長 丸 山 喜 久

ほかに委員：6名 メールにて審議

- 1) 学術的な地震被害調査報告の英文版を適時情報発信する「随時受付可能な査読付英文電子ジャーナル(JSCE Disaster Fact Sheets)の発行」を目的とした、Web site 設立準備・広報周知活動・JSCE Disaster Fact Sheets 編集運営活動の実施

27-6 性能に基づく橋梁の耐震計画・設計・診断に関する研究小委員会

委 員 長 大 住 道 生 副 委 員 長 藤 倉 修 一

幹 事 長 松 本 崇 志

ほかに委員および幹事：46名 委員会：3回 WG 会議：20回 他にメールにて審議

- 1) 橋梁の耐震計画、設計、診断を合理的、効果的に行うための学術的な研究課題について、専門領域を超えて研究・技術情報の交流を図り、現実存在する更なるニーズへの対応を新たな技術等も活用して解決する方法を整理、提案することを目的に、耐震構造計画、耐震解析、既設橋耐震設計・診断の3つのWGで活動
- 2) 「第27回橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム」をハイブリッド形式で開催

27-7 地震災害軽減のためのダメージフリー構造技術に関する調査研究小委員会

委 員 長 運 上 茂 樹 副 委 員 長 松 崎 裕

幹 事 長 党 紀

ほかに委員：27名 委員会：1回 他にメールにて審議

- 1) 社会基盤構造物の被害最小化と災害発生時の迅速な事後対応への備えとして、超過外力に対する影響評価や対策技術、地震後の迅速な健全度判定技術などに関して、我が国が置かれている地震環境や最近の技術開発を踏まえ、今後の地震災害軽減に必要とされる次世代の技術展開についての調査研究

27-8 JSCE2020 防災プロジェクト推進小委員会

委 員 長 目 黒 公 郎 幹 事 長 吉 見 雅 行

ほかに委員：11名 メール審議

- 1) JSCE2020防災プロジェクト「土木を軸に国難災害に立ち向かう：複合・巨大災害の全貌解明と横断的対応体制の確立」の活動を円滑に進めるために、調整や方針を決定
- 2) 令和6年度土木学会全国大会において研究討論会を開催（視聴者295名）

27-9 城郭石垣及び石積擁壁の耐震診断・補強に関する研究小委員会

委 員 長 橋 本 隆 雄 副 委 員 長 宮 島 昌 克

幹 事 長 池 本 敏 和

ほかに委員：33名 WG：24回

- 1) 城郭石垣及び石積擁壁の研究者・技術者を集めて、耐震診断方法・耐震補強対策の策定
- 2) 孕みや変状もしくは崩壊した石積擁壁の現地調査を行い、現地に応じた耐震補強の検討

27-10 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価小委員会

委 員 長 仙 頭 紀 明 幹 事 長 三 上 武 子

ほかに委員：24名 委員会：2回

- 1) 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形量照査に必要な地盤調査及び室内力学試験方法の調査

2) 上記の調査結果から地盤の過剰間隙水圧の上昇と消散の影響評価の方法をまとめたガイドラインの作成

27-11 地震防災技術の伝承・教育に関する検討小委員会

委員長 池田 隆 明 副委員長 阿部 慶 太

幹事長 井上 和 真

ほかに委員：14名 委員会・幹事会：3回

- 1) 地震防災技術の伝承に寄与する教育教材の作成
- 2) 講習会「令和6年能登半島地震被害とその調査から学ぶ～地震防災に向けた発信・蓄積・教育・技術伝承～」をハイブリッド開催（5月30日、参加申込者1,058名）

27-12 マルチハザードに対するライフライン施設の減災・保全対策に関する研究小委員会

委員長 丸山 喜 久 副委員長 朱牟田 善 治

ほかに委員：30名 委員会：2回

- 1) マルチハザード下でのライフライン減災対策に関する情報交換および事例収集
- 2) 第15回「インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」を開催

27-13 2024年能登半島地震における自治体と地域建設事業者の応急対応に関する調査小委員会

委員長 仲村 成 貴 幹事長 佐藤 誠 一

ほかに委員：4名 委員会：3回

- 1) 2024年能登半島地震により被災した地域の自治体の建設関係部署と地元建設事業者の応急対応活動の実態と課題を調査
- 2) 石川県建設業者へのヒアリング、富山県及び県内建設協会へのヒアリングを実施

28. 原子力土木委員会

委員長 中村 晋 副委員長 大鳥 靖 樹 高田 毅 士

幹事長 中島 正 人

ほかに委員会顧問、委員、幹事、常時参加者：58名 委員会：4回 幹事会：3回

- 1) 原子力土木に関する調査研究を実施
- 2) 原子力関係の小委員会及び受託研究委員会の調査研究を促進
- 3) 公開講演会を2回開催

28-1 リスクコミュニケーション小委員会

委員長 奈良 由美子 幹事長 松村 卓 郎

ほかに委員、常時参加者：7名 委員会：3回

- 1) 国内外の原子力発電に関するリスクコミュニケーション事例の把握と考察
- 2) 他分野のリスクコミュニケーション事例の把握と考察
- 3) リスクコミュニケーション概念と手法の再検討

28-2 規格情報小委員会

委員長 中村 晋 副委員長 大鳥 靖 樹

幹事長 篠田 昌 弘 副幹事長 中島 正 人

ほかに委員および幹事：17名 委員会：1回

- 1) 学会および関連学協会における基準類の標準化過程を整理し、原子力土木委員会における技術資料に対するパブリックコメントなども含む標準化のあり方について検討

28-3 津波評価小委員会（受託）

委員長 高橋 智 幸 幹事長 木原 直 人

ほかに顧問、委員、幹事、常時参加者：53名 委員会：3回

- 1) 受託研究「津波評価技術の体系化に関する研究（その9）」の実施

- 2) 受託研究「津波漂流物の衝突評価の高度化に関する研究」の実施

28-4 基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会（受託）

委員長 谷 和 夫 幹事長 澤 田 昌 孝

ほかに委員、幹事、常時参加者：47名 小委員会：2回

- 1) 受託研究「基礎地盤の変形量評価の体系化に関する研究」の実施

28-5 断層活動性評価小委員会（受託）

委員長 吉 田 英 一 幹事長 中 田 英 二

ほかに顧問、委員および幹事：29名 委員会：2回

- 1) 受託研究「断層活動性評価手法の体系化に関する研究」の実施

28-6 地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会（受託）

委員長 前 川 宏 一 幹事長 河 井 正

ほかに委員、幹事および常時参加者：39名 委員会：2回

- 1) 受託研究「屋外重要土木構造物の耐震性能照査法の標準化」の実施

29. トンネル工学委員会

委員長 野 焼 計 史 副委員長 芥 川 真 一

幹事長 村 上 哲 哉

ほかに相談役：11名 委員：41名 委員会：2回

- 1) 委員会の運営に関する審議

- 2) トンネル工学に関する調査研究を実施

29-1 運営小委員会

委員長 芥 川 真 一 幹事長 村 上 哲 哉

ほかに委員および幹事：17名 委員会：2回

- 1) 委員会の運営に関する事項を検討・実施

29-1-1 技術交流・広報部会

部会長 清 木 隆 文 幹事長 鈴 木 健

ほかに委員および幹事：4名 部会：2回

- 1) トンネル技術に関する交流と情報交換の場として、「トンネル技術講演会」を企画・実施

- 2) 「トンネル工学セミナー」を開催

- 3) コンサルタント委員会主催の土木ふれあいフェスタへの協力

29-1-2 シールドトンネル DB 運営部会

部会長 松 永 卓 也

ほかに委員および幹事：16名 部会：3回

- 1) シールドトンネル DB の参加依頼要請、工事情報 DB の募集

- 2) 収集データの利活用に関する検討

29-2 技術小委員会

委員長 砂 金 伸 治 幹事長 巽 義 知

ほかに委員および幹事：10名 委員会：1回

- 1) 調査研究部会の管理、運営

- 2) 研究課題抽出、研究立上げ

29-2-1 都市において構造物に近接したトンネルの設計・施工法に関する検討部会

部会長 田 嶋 仁 志 幹事長 津 野 究

ほかに委員：33名 部会：1回

- 1) 設計・施工の紹介
- 2) 地盤変形、構造物の応力、変形、仮設構造物の応力・変形等の予測解析手法の事例紹介
- 3) 2)と現地計測との整合性検証
- 4) ライブラリーの発刊および講習会開催

29-2-2 シールド工事用立坑の耐震設計法検討部会

部 会 長 岩 波 基 幹 事 長 仲 山 貴 司

ほかに委員：18名 部会：1回

- 1) 地震応答の算出方法に関する検討
- 2) 基盤層に達する大深度立坑の地盤モデル深さに関する検討
- 3) 立坑の耐震解析モデルの精度向上に関する検討
- 4) 耐震性能評価に関する検討（破壊状態の設定など）
- 5) 立坑の耐震対策に関する検討（①設計・施工法の紹介）
- 6) ライブラリーの発刊および講習会開催

29-2-3 山岳トンネルの外力による変状と補強に関する検討部会

部 会 長 砂 金 伸 治 幹 事 長 野 城 一 栄

ほかに委員：28名 部会：1回

- 1) トンネルの変状事例の整理（事例とメカニズム）
- 2) トンネルの対策事例の整理（事例と設計の考え方）
- 3) 補強工の設計方法の原則に関する提案
- 4) ライブラリーの発刊および講習会開催

30-2-4 維持管理を目的とした箱型トンネルの施工法の調査部会

部 会 長 小 西 真 治 副 部 会 長 岩 波 基

幹 事 長 牛 田 貴 士

ほかに委員およびオブザーバー：14名 部会：1回

- 1) ケーソン工法で施工された箱型トンネルに関する情報収集および整理
- 2) 連壁を本体利用して施工された箱型トンネルに関する情報収集および整理
- 3) 河川締切り工法等の特殊な工法で施工された箱型トンネルに関する情報収集および整理
- 4) 1～3を取りまとめた技術資料の作成

29-2-4 地下建設における地盤リスクマネジメント検討部会

部 会 長 木 村 定 雄 幹 事 長 大 塚 勇

ほかに委員：22名 部会：4回

- 1) 国内事故災害事例の調査取りまとめ
- 2) 国内リスク契約内容の分析と課題の検討
- 3) 海外工事における契約方式の調査取りまとめ
- 4) 検討成果の社会発信の検討

29-2-5 土質力学に基づくシールド工法における地盤掘削プロセス管理検討部会

部 会 長 赤 木 寛 一 幹 事 長 岡 滋 晃

ほかに委員：31名 部会：3回

- 1) シールドトンネル施工時の地盤掘削プロセス管理の検討
- 2) トンネルライブラリーを発刊予定

29-2-6 シールドトンネル用材料の耐久性評価に関する技術検討部

部 会 長 吉 本 正 浩 幹 事 長 中 島 正 整

ほかに委員：16名 部会：4回

- 1) 鋼、コンクリート、高分子材料の劣化メカニズムに関する検討
- 2) 土中トンネル外面およびトンネル内空間における劣化環境に関する検討
- 3) 共用環境および個別材料劣化メカニズムに即した耐久性評価方法に関する検討
- 4) シールドトンネル標準示方書改定内容への検討成果反映に関する検討

29-3 土木学会論文集特集号(トンネル工学)編集小委員会

委員長 吉本正浩 幹事長 保田尚俊
ほかに委員：21名 委員会：5回

- 1) 「土木学会論文集(トンネル工学)特集号」、「トンネル工学報告集」を編集
- 2) 「トンネル工学研究発表会」を開催

29-4 示方書改訂小委員会

委員長 藤橋知一 幹事長 奥井裕三
ほかに委員：25名 委員会：4回

- 1) 次期改訂までのスケジュール・作業内容検討
- 2) 英訳版の公開方法の検討および共通編英訳作業

30. 環境工学委員会

委員長 李玉友 幹事長 佐野大輔
副幹事長 大石若菜 久保田健吾 坂巻隆史
ほかに委員および委員兼幹事：36名 委員会：3回 幹事会：3回

- 1) 「環境工学研究フォーラム」を開催、論文集及び講演集を編集、作成
- 2) 土木学会論文集特集号(環境工学)の投稿・購読の促進等
- 3) 環境工学関係小委員会および委託研究小委員会の調査研究を促進
- 4) シンポジウム、学生海外ツアー、ホームページ・メール配信等による環境工学の研究・教育の推進

30-1 論文集小委員会

委員長 李玉友 幹事長 佐野大輔
ほかに委員：16名 委員会：2回

- 1) 「環境工学研究フォーラム」応募論文の審査、査読を実施し、『土木学会論文集特集号(環境工学)』及び環境工学研究フォーラム講演集』編集

30-2 表彰小委員会

委員長 李玉友 幹事長 佐野大輔
ほかに委員：2名

- 1) 環境工学研究フォーラムにおける各賞表彰者を選考

30-3 水インフラ更新に関する小委員会

委員長 滝沢智
ほかに委員：38名 委員会：3回

- 1) 水インフラ更新のための水道事業の将来モデルの開発
- 2) 水インフラ更新の優良事例の収集

30-4 環境技術思想小委員会

委員長 楠田哲也
ほかに委員：19名 委員会：5回

- 1) 臨床環境技術小委員会と共催でセミナーを実施

30-5 臨床環境技術小委員会

委員長 伊藤禎彦

ほかに委員：19名

- 1) 環境技術思想小委員会と共催でセミナーを実施

31. 環境システム委員会

委員長 荒 卷 俊 也 幹 事 長 松 橋 啓 介

副 幹 事 長 井 原 智 彦

ほかに委員会顧問、委員および委員兼幹事：45名 委員会：3回 幹事会：2回

- 1) 環境システムに関する調査研究を実施
- 2) 「環境システム研究論文発表会」を開催

31-1 論文審査小委員会

委員長 石 井 一 英

ほかに委員および委員兼幹事：43名 委員会：2回

- 1) 「環境システム研究論文発表会」全文査読部門・アブストラクト査読部門への応募論文の審査、査読を実施し、
『土木学会論文集特集号（環境システム）』及び『環境システム研究論文発表会講演集』を編集

31-2 表彰小委員会

委員長 松 本 亨

ほかに委員：2名 委員会：2回

- 1) 環境システム優秀論文賞、論文奨励賞、優秀学生発表賞、優秀ポスター賞を選考

31-3 国際連携・環境評価研究小委員会

委員長 谷 川 寛 樹

ほかに委員：3名

- 1) 環境システム研究論文発表会での企画セッション

31-4 広報・電子化小委員会

委員長 中 久 保 豊 彦

ほかに委員：1名 メールにて審議

- 1) 環境システム委員会 Web サイトの更新、一般向けメーリングリストの運営

31-5 環境システムビジネス展開小委員会

委員長 鶴 巻 峰 夫

ほかに委員：4名

- 1) 環境システムシンポジウム開催を検討

32. 岩盤力学委員会

委員長 森 岡 宏 之 副委員長 木 戸 研太郎 谷 卓 也

幹 事 長 中 島 伸一郎

ほかに顧問、委員および幹事：63名 委員会：2回

- 1) 岩盤力学に関する調査研究を実施
- 2) 小委員会の活動状況および予算執行状況の確認
- 3) 小委員会の設置、改廃の検討
- 4) Web の運営

32-1 企画運営小委員会

委員長 森 岡 宏 之 副委員長 木 戸 研太郎 谷 卓 也

幹 事 長 中 島 伸一郎

ほかに委員および幹事：23名 委員会：4回

- 1) 委員会の企画・運営に関する事項の検討

32-2 論文小委員会

委員長 木下尚樹

ほかに委員および幹事：13名 委員会：3回

- 1) 「岩盤力学に関するシンポジウム」の開催

32-3 岩盤斜面研究小委員会

委員長 小山倫史

ほかに委員および幹事：18名 委員会：1回

- 1) 岩盤斜面に関する調査研究を実施

32-4 岩盤力学改訂版編集小委員会

委員長 京谷孝史

副委員長 岸田 潔

幹事長 森岡宏之

ほかに委員および委員兼幹事名 63名

- 1) 岩盤力学に基づく情報の発信が可能となる体制を整え、発信する
- 2) 岩盤力学の知識が活用できる代表的な手法に関する事例を念頭に置いた文献・情報の収集、および分析等を実施

32-5 岩盤動力学研究小委員会

委員長 岩田直樹

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：36名 委員会：4回

- 1) 岩盤動力学の現状および課題の整理と体系化の枠組みを検討

32-6 岩盤力学におけるDX活用検討小委員会

委員長 谷 卓也

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：17名 委員会：3回

- 1) 岩盤評価を対象としたデジタル化やAI適用による省力化や評価精度の向上
- 2) 岩盤の連成現象に関するベンチマークテストと再現解析および最新の研究動向調査

32-7 岩盤連成現象研究小委員会

委員長 安原英明

ほかに委員：20名 委員会：3回

- 1) 岩盤の連成現象に関するベンチマークテストと再現解析および最新の研究動向調査

33. 海洋開発委員会

委員長 富田孝史

幹事長 武田将英

ほかに顧問、委員および幹事：51名 委員会：2回 幹事会：3回

- 1) 海洋開発に関する調査研究を実施
- 2) 「土木学会論文集特集号（海洋開発）」を編集
- 3) 海洋開発メールニュースにて情報配信
- 4) 「海洋工学会」、「海洋政策学会」、「地球環境委員会」等の他学会、他委員会との連携
- 5) 「第48回海洋開発シンポジウム」（ハイブリッド）の開催
- 6) 「海洋開発論文賞」の創設
- 7) 「CADMAS-SURF勉強会」、「Offshore Tech Japan 2025 第6回海洋産業技術展」の後援

ほかに委員、アドバイザー：17名 委員会：3回

- 1) 「第48回海洋開発シンポジウム」プログラム編成、見学会開催他

33-1 査読システム移行検討小委員会

委員長 中村友昭

副委員長 中條壮 大

ほかに委員、アドバイザー：11名 メールにて審議

- 1) 「土木学会論文集特集号（海洋開発）」の新しい査読システム（Easy Chair）への移行検討

33-2 論文編集小委員会

委員長 岡田 知也 副委員長 加島 寛章 金 洙 列

ほかに委員：26名 委員会：3回 他メールにて審議

- 1) 「土木学会論文集特集号（海洋開発）」への応募論文対応、査読基準の検討、審査他
2) 査読体制の検討
3) 論文査読システムの運用

33-3 論文査読小委員会

委員長 岡田 知也 副委員長 三井 順 委員兼幹事 倉原 義之介

メールにて審議

- 1) 査読の運営（連絡・調整含む）
2) 「土木学会論文集特集号（海洋開発）」への応募論文の査読

33-4 シンポジウム小委員会

委員長 琴浦 毅 副委員長 山野 貴司

ほかに委員、アドバイザー：17名 委員会：3回

- 1) 「第49回海洋開発シンポジウム」プログラム編成、見学会開催他

33-5 広報小委員会

委員長 高山 百合子

ほかに委員：5名 メールにて審議

メールニュース、委員会HP他、広報全般に関わる提案、運営

33-6 査読システム移行検討小委員会

委員長 中條 壮大 副委員長 金 洙 列

ほかに委員、アドバイザー：11名 メールにて審議

「土木学会論文集特集号（海洋開発）」の新しい査読システム（Easy Chair）移行後の維持・改善

33-7 海洋開発論文賞選考小委員会

委員長 中條 壮大 副委員長 金 洙 列

委員長 富田 孝史 副委員長 岡田 知也

幹事長 武田 将英 ほかに委員：6名 メールにて審議

「海洋開発論文賞」候補の選考

34. 土木情報学委員会

委員長 安井 勝俊 副委員長 関本 義秀 森 博昭

幹事長 上山 晃 副幹事長 矢尾 板 啓

ほかに委員および幹事：24名 委員会：4回 幹事会：8回 他にメールにて審議

- 1) 土木情報学に関する調査研究を実施
2) 「第48回土木情報学シンポジウム」、BIM/CIMに関連した講演会等の開催

34-1 行事企画小委員会

委員長 塩崎 正人 副委員長 松田 宏文

ほかに委員：7名 委員会：9回

- 1) 委員会主催行事の企画・運営（土木情報学シンポジウム、講演会、講習会）

34-2 論文編集小委員会

委員長 佐藤 靖彦 副委員長 小林 亘 森本 直樹

ほかに委員：15名 委員会：6回 他にメールにて審議

- 1) 土木学会論文集特集号（土木情報学）の論文査読
- 2) 土木情報学シンポジウム講演集の編集
- 3) 土木学会賞（論文賞、論文奨励賞および技術開発賞）への推薦候補選定

34-3 3D Annotated Model 研究小委員会

委員長 城古雅典 副委員長 石田 仁 栗崎直子

ほかに委員：10名 委員会：1回 他にメールにて審議

- 1) 3次元設計モデルにアノテーションとアトリビュートを付与した 3D Annotated Model 適用による有効性及び具体例について調査・研究

34-4 三次元モデルを活用した生産性向上研究小委員会

委員長 中嶋道雄 副委員長 渡邊武志 柳川正和

ほかに委員：28名 委員会：2回 他にメールにて審議

- 1) 3D モデルの活用を前提に、設計・施工・維持管理の一連のプロセスを整理し、効率化が可能と思われる部分を洗い出し、全体最適化を実現するために調査・研究

34-5 IoT/AI 活用モデル研究小委員会

委員長 枅見周彦 副委員長 本木章平 吉田敬宏

ほかに委員：15名 委員会：5回 他にメールにて審議

- 1) 計測・数理化が難しい課題への取り組み事例の調査・研究
- 2) 新しい科学技術要素、概念、国際動向、輸出を踏まえた活用モデル検討
- 3) 企業からの教育用データの提供と教育機関からのフィードバックの仕組み検討

34-6 災害弱者に向けた情報通信技術を活用した防災・減災技術研究小委員会

委員長 石内鉄平 副委員長 森博昭

ほかに委員：9名 委員会：7回 他にメールにて審議

- 1) 要配慮者利用施設における事前準備の課題を抽出し、情報通信技術の利活用について調査・研究
- 2) インクルーシブ社会実現に向けた ICT 利活用によるガイドライン・防災教材に関する調査・研究

34-7 デジタルツイン活用流域治水研究小委員会

委員長 間野耕司 副委員長 山本一浩

ほかに委員：21名 委員会：5回

- 1) 3D データ＋IoT（リアルタイムデータ）を用いたシミュレーションの事例や最新の取り組み、3DWeb 環境の活用事例を整理し、流域治水におけるデジタルツインを実現するための条件や課題を整理する研究

34-8 DTPD 研究小委員会

委員長 城古雅典 副委員長 栗崎直子

ほかに委員：8名 委員会：10回

- 1) 建設分野への DTPD（Digital Technical Product Documentation：デジタル製品技術文書情報）の適用に対する有効性の研究

35. エネルギー委員会

委員長 谷智之 副委員長 森本英雄

幹事長 松浦忠孝

ほかに顧問、委員および幹事：26名 委員会：3回

- 1) 電力、ガス等、エネルギーに関する土木技術についての調査・研究を実施
- 2) 報告書「2011年東京電力2福島第一原子力発電所事故における土木技術等の適用事例の体系的整理―事故時の緊急時対応、汚染水拡大防止等の技術蓄積―」の公開に係る報告と講演（2025.4.12 オンライン併用）を開

催 出席者：93 名

- 3) 講演会「ラオス国電力輸出型大規模水力 IPP 事業の開発（ナムニアップ1 水力プロジェクト）」

（2024. 10. 15 オンライン併用）を開催出席者：341 名

- 4) 講演会「第7 次エネルギー基本計画について」（2025. 3. 25 オンライン併用）を開催 出席者：341 名

35-1 新技術・エネルギー小委員会

主 査 山 田 安 秀

ほかに委員：6 名 委員会：8 回

分科会委員：78 名 分科会委員会：6 回

- 1) 火力発電所由来 CO2 の利用に関する土木分野の技術動向の調査検討

分科会主査 坂 西 欣 也

- 2) 近年の台風及び豪雨による水力発電設備保守運用技術に関する調査検討

- 3) 成果報告会「近年の台風及び豪雨を踏まえた水力発電設備保守運用技術に関する調査研究」（2024. 8. 29 オンライン併用）を開催出席者：430 名

分科会主査 豊 田 康 嗣

35-2 環境技術小委員会

委 員 長 仲 敷 憲 和

ほかに委員および幹事：12 名 委員会：2 回

分科会委員：27 名 分科会委員会：3 回

- 1) 洋上風力発電技術に関する検討

35-3 低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会

委 員 長 大 西 有 三 副 委 員 長 勝 見 武

幹 事 長 河 西 基

ほかに委員および幹事：18 名 委員会：1 回

分科会委員：26 名 合同分科会委員会：1 回

- 1) 除去土壌等の除染廃棄物対策についての検討

- 2) 1F 事故由来汚染廃棄物の検討

- 3) 極低レベル放射性廃棄物（L3）対策についての検討

- 4) 2024 年日台技術交流：低レベル放射性廃棄物処分技術に関する国際シンポジウム（2024. 10. 21 オンライン併用） 出席者：136 名（台湾側：4 名、日本側：132 名）

- 5) 土木学会全国大会 研究討論会（2024. 9. 4 オンライン併用）「除去土壌等の保管・減容・再生利用に関する取組状況と今後の課題」 出席者：77 名（主催者側：4 名を含む）

35-4 スマートシェアリングシティ小委員会

委 員 長 森 本 章 倫 幹 事 長 長 田 哲 平

ほかに顧問、委員および幹事：20 名 委員会：4 回

- 1) スマートシェアリングシティ導入に向けた検討

35-5 インフラ健康診断小委員会

委 員 長 高 橋 章 幹 事 長 橋 本 淳

ほかに委員および幹事補助：12 名 委員会：4 回

- 1) インフラ健康診断書作成に関する検討

36. 建設技術研究委員会

委 員 長 手 塚 広 明 幹 事 山 内 崇 寛

ほかに委員会顧問、委員および幹事：37 名 委員会：2 回

- 1) 建設技術に関する問題の研究・調査およびこれらの推進を図る
- 2) 全国大会研究討論会の企画

36-1 運営小委員会

委員長 手塚 広 明 小委員長 横 尾 敦

ほかに委員および幹事：21 名 委員会：6 回

- 1) 各小委員会の運営方針の検討、連絡調整等を行う

36-2 行事企画小委員会

委員長 渡 辺 巧 副委員長 山 本 和 範 作 田 大 幸

ほかに委員：10 名 委員会：5 回

- 1) 「土木建設技術発表会」の企画・開催

36-3 建設技術 Q&A 小委員会

委員長 堀 口 賢 一 副委員長 前 田 周 吾

ほかに委員：15 名 委員会：11 回

- 1) 「なんでも相談室 土工・掘削編」改訂、発刊

36-4 国際技術交流小委員会

委員長 上 野 恭 宏 副委員長 川 上 滋 草 野 孝 三

ほかに副委員長及び委員：11 名 委員会：1 回

- 1) 海外技術者との国内における交流会の企画、実施
- 2) JICA 研修協力（企画・開催）

36-5 土壌・地下水汚染対策研究小委員会

委員長 菅 沼 優 巳 副委員長 長 千佳 富 田 尚 道

ほかに委員：11 名 委員会：9 回

- 1) 残土条例の調査および区域内での施工方法等の調査をとりまとめ報告会を実施
- 2) 東京都特別区専門研修への講師派遣

36-6 生産性向上小委員会

委員長 石 田 靖 副委員長 岩 田 航 司 千 葉 史 隆

ほかに委員：12 名 委員会：12 回

- 1) 生産性向上につながった事例の調査・分析

36-7 教育小委員会

委員長 加 藤 隆 副委員長 秋 山 直 樹 池田 真理子

ほかに委員：17 名 委員会：4 回

- 1) 建設業に従事する若手社員を対象に、基礎的な知識の習得が可能となる教育コンテンツの収集・整理を行う

37. 建設用ロボット委員会

委員長 建 山 和 由 副委員長 山 元 弘

幹事長 茂 木 正 晴

ほかに委員および幹事：27 名 委員会：3 回

- 1) 建設分野における情報化・自動化・ロボット化に関する調査研究を実施
- 2) 建設ロボット関連の学協会との連携

37-1 維持管理小委員会

委員長 池 田 隆 成 副委員長 山 本 善 久

事務局長 松 本 清 志

ほかに委員：15 名

- 1) 各事業者の維持管理事例と課題についての調査および整理
- 2) 「維持管理ロボット・技術セミナー」等の開催

37-2 建設施工小委員会

委員長 関 伸 司 副委員長 田 中 敏 成

ほかに委員：25 名

- 1) 「建設機械の自動化・ロボット化の現状と今後の展望」の取りまとめおよび公開
- 2) 海上 GNSS 測位技術講習会を実施
- 3) 港湾及び海洋土木技術者のための ROV 等水中機器類技術講習会を実施

37-3 新技術小委員会

委員長 古 屋 弘 副委員長 小 林 泰 三

事務局長 椎 葉 祐 士

ほかに委員：4 名

- 1) 土木以外の多分野を含め分野横断的に建設用ロボットの開発、普及促進に関係する情報の収集とその適用に関する検討
- 2) 異分野技術者との交流会を実施
- 3) 月面建設技術シンポジウムを実施

37-4 災害・事故小委員会

委員長 北 原 成 郎 副委員長 新 田 恭 士

ほかに委員：9 名

- 1) 災害時のロボット対応について対応内容、成果と課題などのまとめを実施
- 2) 無人化施工の生産性向上に関する研究

38. 地盤工学委員会

委員長 中 野 正 樹 副委員長 渡 部 要 一

幹事長 高 野 大 樹

ほかに委員および幹事：33 名 委員会：3 回

- 1) 地盤工学に関する調査研究を実施した
- 2) 地盤工学に係る情報発信を目的として地盤工学セミナーを開催した
- 3) 海岸や砂防などの他の関連分野や他の関連学協会との緊密な連携をとり研究を推進す
- 4) 各小委員会を継続設置し、成果をとりまとめ災害対応技術の体系化、横断的安全問題の体系化を図った
- 5) 地盤工学分野における将来の研究計画について検討をすすめた。
- 6) 委員会内ワーキンググループを通じて、委員会構成員の交流と活発な議論を促すことにより、委員会の活性化を図る

38-1 斜面工学研究小委員会

委員長 伊 藤 和 也 副委員長 岩 佐 直 人 吉 川 修 一

ほかに委員：30 名 委員会：2 回

- 1) 書籍「知っておきたい斜面のはなし Q&A-2 斜面の災害に備える」に関する WG 活動を実施
- 2) 書籍「知っておきたい斜面のはなし Q&A-2 斜面の災害に備える」販売促進のための講習会等企画
- 3) 2024 年度重点研究課題（研究助成金）「経験の無い気象の常態化での宅地斜面地盤の災害状況と災害メカニズム」の実施

38-2 火山工学研究小委員会

委員長 千 葉 達 朗 副委員長 稲 垣 秀 輝 後 藤 聡

ほかに顧問、委員および幹事：25 名 委員会：3 回

- 1) 各 WG の活動報告
- 2) 令和 6 年度「火山工学セミナー」の実施

38-3 堤防研究小委員会

委員長 前 田 健 一 副委員長 佐々木 哲也

ほかに委員、部会委員および幹事：63 名（河川部会の連携委員を含む） 委員会：1 回 幹事会：4 回

- 1) 各 WG の活動報告（WG 開催は延べ 15 回）
- 2) 第 11 回河川堤防技術シンポジウムの実施

38-4 土質試験のてびき改訂小委員会

委員長 豊 田 浩 史 幹 事 藤 原 照 幸

ほかに委員、部会委員および幹事：10 名 委員会：2 回（全て WEB）

- 1) 土質試験のてびき改訂第四版の出版後の情報整理を実施

39. 土木計画学研究委員会

委員長 佐々木 邦 明

副委員長 辰 巳 浩 山 崎 基 浩

幹 事 長 福 田 大 輔

ほかに委員および幹事など：40 名 委員会：2 回

- 1) 土木計画学に関する調査研究を実施
- 2) 委員会の運営に関する審議
- 3) 「第 69 回土木計画学研究発表会（春大会）」を開催し、土木計画学研究・講演集を編集・作成
- 4) 「第 70 回土木計画学研究発表会（秋大会）」を開催し、土木計画学研究・講演集を編集・作成

39-1 幹事会

幹 事 長 福 田 大 輔

ほかに委員および幹事など：20 名 幹事会：2 回

- 1) タスクの検討
- 2) 土木計画学研究発表会春大会、秋大会の検討
- 3) ウェブやセミナーを通じた情報発信と知識の普及・啓発

39-2 学術小委員会

委員長 岸 邦 宏

副委員長 平 石 浩 之

幹 事 長 鈴 木 雄

ほかに委員：30 名 委員会：5 回

- 1) 『土木学会論文集・特集号（土木計画学），Vol. 80, No. 20』の論文査読・編集・作成

39-3 大会運営小委員会

委員長 日 比 野 直 彦

副委員長 有 村 幹 治

ほかに委員および幹事：6 名 委員会：2 回

- 1) 第 69 回の土木計画学研究発表会（春大会・自由投稿型）企画
- 2) 第 70 回の土木計画学研究発表会（秋大会・企画提案型）企画

39-4 「方法と技術」運営小委員会

委員長 室 町 泰 徳

幹 事 長 土 屋 哲

ほかに委員および幹事：12 名 委員会：2 回

- 1) 土木学会論文集（土木計画学（方法と技術））の編集活動

39-5 「政策と実践」運営小委員会

委員長 藤原章正

幹事長 藤井聡

ほかに委員および幹事：11名 委員会：2回

1) 土木学会論文集（土木計画学（政策と実践））の編集活動

39-6 物流に関わる国際戦略・研究活動支援事業運営小委員会

委員長 柴崎隆一

幹事長 川崎智也

ほかに委員および幹事：19名 委員会：3回

1) International Conference on Transport and Logistics 2024 を R4TLI との合同で開催決定

2) International Conference on Transport and Logistics 2022 の優秀論文について、Asian Transport Studies の特集号 Logistics in Asia: The Post-Pandemic Era で出版。その他のジャーナルの特集号も編集集中

39-7 日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会

委員長 藤井聡 副委員長 松村暢彦

幹事長 神田佑亮

ほかに委員および幹事：34名 委員会：3回

1) 「日本モビリティ・マネジメント会議」を開催

2) ニュースレターJCOMM 通信を配信(年4回発行)

39-8 鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL）実行委員会

委員長 柳沼秀樹

ほかに委員および幹事：14名 委員会：3回

1) 第31回鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL2024）を開催

39-9 インフラ・ファイナンス研究小委員会

委員長 安間匡明

幹事長 大西正光

ほかに委員および幹事：24名 委員会：3回

1) 研究成果を取りまとめた論文を土木学会論文集に投稿するための準備

2) 査読論文ドラフトをベースとしたセミナーを開催予定

3) ワンで未セミナー「インフラ PPP 事業における金融の果たす役割」を開催

39-10 新しいモビリティサービスやモビリティツールの展開を前提とした交通計画論の包括的研究小委員会

委員長 秋山哲男，中村文彦 副委員長 高見淳史，菅原宏明

ほかに委員および幹事：30名 委員会：5回

1) 30年先を見据えた交通計画に関する考えを発表，議論

2) 2025年度に研究成果を取りまとめた書籍を出版するための準備

3) 講習会「バスを中心とする地域公共交通計画—大都市交通不便地域を中心に」を開催

39-11 革新的技術導入における合意形成研究小委員会

委員長 矢嶋宏光

幹事長 寺部慎太郎

ほかに委員および幹事：12名 委員会：1回

1) 第70回土木計画学発表会（秋大会）にて企画セッションを開催

2) ワンデイセミナー「土木・都市分野への革新的技術の導入における市民合意形成上の課題にどう対処すべきか？」を開催

39-12 沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会

委員長 河野達仁 副委員長 藤見俊夫
幹事長 尾野薫

ほかに委員および幹事：7名 委員会：2回

- 1) 海岸工学委員からの気候変動ハザード予測にもとづき、土木計画委員による適応政策の立案と沿岸まちづくりを検討するという協働体制を構築
- 2) 沿岸まちづくり研究小委員会の前身の減災アセスメント研究小委員会で作成した報告書の要約版を作成
- 3) シンポジウム「気候変動適応におけるリアルオプションを考慮した沿岸まちづくり」を開催

39-13 災害データサイエンス研究小委員会

委員長 高木朗義
幹事長 畑山満則

ほかに委員および幹事：7名 委員会：1回

- 1) 災害時の避難行動調査の実施についての議論

39-14 多様な地域課題を解決する道路交通・ITS事業形成に向けた研究ネットワーク構築小委員会

委員長 清水哲夫 副委員長 岸邦宏

ほかに委員および幹事など：22名 委員会：1回

- 1) 第70回土木計画学発表会（秋大会）にて企画セッションを開催
- 2) 北海道、東京で道路管理者、自治体関係者、研究者、関連産業団体等が参加する地区シンポジウムを開催
- 3) シンポジウム「地域の課題に徹底的に寄り添う ITS 事業形成を目指して」を開催

39-15 MaaS の実践・実証と理論の包括的研究小委員会

委員長 神田佑亮
幹事長 早内玄

ほかに委員および幹事：37名 委員会：6回

- 1) モントリオールで開催された WCTR2023 において SIG セッションを開催
- 2) MaaS の社会的価値に関する討議を主たるテーマとし、MaaS と都市政策の関係について議論

39-16 スマートローカルモビリティ公共財プラットフォーム小委員会

委員長 森川高行 副委員長 中村文彦
幹事長 三輪富生

ほかに委員および幹事：7名 委員会：3回

- 1) 第70回土木計画学発表会（秋大会）にて企画セッションを開催
- 2) SM 公共財 PF のあり方、社会における役割、社会実装プロセス等について協議

39-17 国土強靱化定量的脆弱性評価委員会

委員長 藤井聡 副委員長 小池淳司
幹事長 川端祐一郎

ほかに委員および幹事：6名 委員会：2回

- 1) 国土強靱化定量的脆弱性評価委員会検討報告書（令和5年3月）を作成
- 2) 国土交通省道路局、水河川局、港湾局のオブザーバー参加や政府との綿密な連携を図りながら、最先端の学術的知見に基づいた脆弱性評価を議論

39-18 社会課題解決のためのゲーミフィケーション活用研究小委員会

委員長 倉内文孝 副委員長 東善朗
幹事長 中村俊之

ほかに委員および幹事：21名 委員会：2回

- 1) 第70回土木計画学発表会（秋大会）にて企画セッションを開催

- 2) ゲーミフィケーションの取り組みについての包括的な整理と紹介, および討議

39-19 公共交通プライシング実践研究小委員会

委員長 加藤 博 和

幹事長 宮崎 耕 輔

ほかに委員および幹事: 23 名 委員会: 2 回

- 1) 協議運賃を活用した新たな運賃制度導入についての検討
- 2) 異なる交通モード, 異なる料金(運賃)の決定の考え方や方法を一元化することに関する検討

39-20 汎化加工された位置情報履歴データの有効活用に関する研究小委員会

委員長 古屋 秀 樹

副委員長 岡本 直 久, 清水 哲 夫

幹事長 栗原 剛

ほかに委員および幹事: 17 名 委員会: 2 回

- 1) 想定した利用目的のもとでの汎化加工された位置情報履歴データとその派生情報に関する確度や信頼性の向上について検討
- 2) 将来の観光計画, 交通計画, 都市計画の高度化に資するデータの活用について検討

39-21 土木計画学におけるマクロ経済モデルの活用に関する研究小委員会

委員長 藤井 聡

副委員長 小池 淳 司

ほかに委員および幹事: 12 名 委員会: 2 回

- 1) マクロ経済モデルを、インフラ投資がもたらす経済効果の「評価」に適用するにあたっての適用条件や長所・短所を、一般均衡モデルとの対比を踏まえた上で整理
- 2) 今後のインフラ投資の評価において、一般均衡モデルとマクロ経済モデルの「適材適所」での活用にあたっての基礎的・学術的な知見を提供

39-22 スマート物流研究小委員会

委員長 山田 忠 史

副委員長 田名部 淳

幹事長 塩見 康 博

ほかに委員および幹事: 17 名 委員会: 2 回

- 1) 物流に関わるステークホルダーが連携し、産・官・学が丸となって研究開発・制度検討・社会実装を進めるためのプラットフォームとして活動

39-23 社会インフラがもたらす多様な価値に関する研究小委員会

委員長 貝戸 清 之

幹事長 織田 澤 利 守

ほかに委員および幹事: 7 名 委員会: 2 回

- 1) 社会インフラのストック効果を計測・評価し、機能やサービス水準に基づいた工学的知見の導入を検討
- 2) 道路ネットワークにおけるクリティカルインフラを特定し、脆弱性を評価
- 3) インフラ群マネジメントの導入による集約化効果を分析し、それに伴う価値の計量化

40. 土木史委員会

委員長 中井 祐

副委員長 緒方 英 樹, 田中 尚 人

幹事長 真田 純 子

ほかに委員および幹事: 15 名 委員会: 3 回、及びメールにて審議

- 1) 土木史に関する調査研究を実施
- 2) 災害時における歴史的建造物の被災確認調査および技術支援体制の構築

40-1 幹事会

幹事長 真田 純 子

ほかに幹事：7名 委員会：メールにて審議

- 1) 委員会の活性化方策についての検討
- 2) 今後の活動方針
- 3) 広報活動の強化策の検討

40-2 広報小委員会

委員長 緒方英樹

幹事長 石橋知也

ほかに常任委員および地域委員：16名 委員会：2回、及びメールにて審議

- 1) 土木史フォーラムの編集
- 2) 土木史委員会 HP の更新
- 3) 土木史サロンの企画・開催

40-3 発表小委員会

委員長 田中尚人 幹事長 寺村淳

ほかに委員：10名 委員会：4回

- 1) 第45回、第46回土木史研究発表会の企画・運営

40-4 戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査小委員会

委員長 阿部貴弘 幹事長 木村優介

ほかに委員：29名 委員会：2回、及びメールにて審議

- 1) 文化庁委託を受け、道路・発電・水道分野における戦後土木施設の調査および成果のとりまとめ

40-5 戦後名著に関する小委員会

委員長 北河大次郎

ほかに委員：5名 委員会：予定なし

- 1) 戦後（1945年以降）の土木関連書籍の調査および選定

40-6 教育・研究推進小委員会

委員長 阿部貴弘 幹事長 岩本一将

ほかに委員：5名 委員会：2回

- 1) 土木史に関する教育方法の検討・実施と、土木史に関する研究方法・内容の拡充

40-7 土木遺産修復技術小委員会

委員長 北河大次郎 副委員長 五十畑弘

幹事長 崔静妍

ほかに委員：9名 委員会：2回、及びメールにて審議

- 1) 異分野交流を通じた修復理念や手法に関する情報の収集
- 2) 連続レクチャーシリーズの開催

40-8 文化財防災小委員会

委員長 阿部貴弘 幹事長 木村優介

ほかに委員：7名 委員会：2回、及びメールにて審議

- 1) 災害時の被災調査及び復旧支援の体制並びに他組織との連携に関する検討、被災調査及び復旧支援の実施、文化財（土木遺産）防災に関する検討

41. 建設マネジメント委員会

委員長 塩釜浩之

副委員長 石原康弘 杉山和久 二宮仁志

幹事長 金子雄一郎 副幹事長 王尾英明

ほかに顧問：10名 委員：47名 委員会：3回

- 1) 建設に関わる調査・企画・計画・設計、施工、管理・運営、維持・保全、契約等の諸行為ならびに経営の合理化を図るために、マネジメント技術の開発・整備と科学的体系化について調査研究を実施
- 2) 「建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会」を開催、同講演集を発行
- 3) 「土木学会論文集特集号（建設マネジメント）」を発行

41-1 運営小委員会

委員長 郷 田 智 章 副委員長 鈴木 貴 大 松 田 奈 緒 子

ほかに委員：14名 委員会：2回

- 1) 委員会運営に関する各種の打合せおよび検討
- 2) 建設マネジメント委員会主催行事の企画・運営
- 3) 研究課題についての審議、活動方針および研究活動の支援

41-1-1 インフラ事業 PFI/PPP 推進課題解決策研究小委員会

委員長 北 詰 恵 一

ほかに委員および幹事：19名 委員会：3回

- 1) 国内外のインフラ PFI/PPP 事業動向とそこから得られる示唆に関する研究
- 2) マネジメント手法としての VFM を実務で普及することを意図した具体的方法論や事業分野・段階別の特徴に応じた実施方策
- 3) 官民の最適な役割分担やリスクマネジメント、VFM を高める評価方式などのインフラ事業における PFI/PPP に関する理論構築

41-1-2 災害対応ガバナンス研究小委員会

委員長 大 西 正 光

ほかに委員：20名

- 1) 災害応急復旧工事が実施過程の実態調査及び課題抽出
- 2) 地域の災害対応能力の評価及び将来予測
- 3) 災害応急復旧工事の実施過程における国・地方自治体・地域建設業等のガバナンス構造の理論的分析（ゲーム理論や社会学的視点から）
- 4) 行政手続きの改善や法制度まで含めた改善策の検討及び実践的取り組み等

41-1-3 原価管理研究小委員会

委員長 小 野 啓 志 副委員長 黒 岩 貴 志

ほかに委員：8名 委員会：9回

- 1) 「土木技術者のための原価管理 問題と解説」の改訂作業

41-1-4 地域マネジメント研究小委員会

委員長 春 名 攻 副委員長 谷 澤 亮

ほかに委員：7名

- 1) サステイナブルなまちづくりと地域マネジメント方法に関する実証的研究

41-1-5 建設産業の生産性とイノベーション調査研究小委員会

委員長 森 本 恵 美 副委員長 鈴木 信 行

ほかに委員：4名

- 1) 公共事業の生産性測定方法の提案とイノベーション要因の抽出に関する調査研究

41-1-6 建設ポートフォリオプログラム研究小委員会

委員長 下 池 季 樹 幹 事 長 佐 鳥 静 夫

ほかに委員：3名

- 1) プログラムマネジメントやポートフォリオマネジメントの導入・活用による、解決策を図る調査・研究

41-1-7 企業価値・ファイナンス研究小委員会

委員長 安間 匡 明 幹事長 森 下 洋 司

ほかに委員：13名 委員会：2024年度1回、2025年度5回

- 1) 価値創造の視点から、インフラ構築に携わる本邦企業が国際的な競争優位性を確保するための課題抽出

41-1-8 土木業界におけるウェルビーイング調査研究小委員会

委員長 佐々木 嘉 仁

ほかに委員：15名 委員会：6回

- 1) 土木従事者のウェルビーイングに関する価値観の実態調査
- 2) 土木従事者のウェルビーイング向上を図る具体策の調査および検討

41-1-9 地方自治体における災害マネジメント研究小委員会

委員長 五 艘 隆 志 幹事長 角 崎 巧

ほかに委員：8名

- 1) 大規模地震津波災害からの早期復興を実現するための具体策を検討

41-1-10 公共デザインコンペティション研究小委員会

委員長 久 保 田 善 明 副委員長 安 田 吾 郎

ほかに委員：4名

- 1) 公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドラインの作成・出版

41-1-11 地域建設業調査研究小委員会

委員長 今 西 肇

ほかに委員：20名 委員会：4回

- 1) これからの地域建設業の役割についての研究

41-2 論文集編集小委員会

委員長 佐 藤 徹 治 副委員長 中 川 善 典

ほかに委員および幹事：15名 委員会：5回

- 1) 「土木学会論文集特集号（建設マネジメント）」の編集発刊、および事項の見直し
- 2) 「建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会」の企画・運営

41-3 表彰小委員会

委員長 野 田 徹 副委員長 浅 古 勝 久

ほかに委員：6名 委員会：3回

- 1) 表彰候補案件の選考と受賞者への表彰

41-4 国際連携小委員会

委員長 曾 根 真 理 副委員長 西 村 徹

ほかに委員、顧問：11名 委員会：1回

- 1) 「利用者視点 ODA」研究の方針の検討

41-5 契約約款制定小委員会

委員長 加 藤 和 彦

ほかに委員：21名

- 1) 建設事業（土木分野）における多様な入札・契約方式に対応した契約約款

41-6 契約約款企画小委員会

委員長 小 澤 一 雅

ほかに委員：24名

- 1) 契約約款の検討と、契約の種類、作成の範囲、作成・発刊までのプロセス等の企画

41-7 建設ケースメソッド普及小委員会

委員長 川 嶋 直 樹

ほかに委員：28名 委員会：3回

- 1) 地震・津波等発生時の建設分野の災害対応力に関する、ケースメソッド等の手法による育成方法の検討・提案

41-8 i-Construction 小委員会

委員長 小 澤 一 雅

ほかに委員：41名 委員会：3回

- 1) 産官学の連携の下、高度情報化技術・システムの開発と活用、建設生産管理プロセスにおける新たなマネジメント体系（手法、しくみ）の開発、その体系に基づいて実際にマネジメントする技術者の役割の明確化と必要な能力開発、等の研究

41-9 働き方改革フォローアップ小委員会

委員長 堀 田 昌 英

ほかに委員：16名 委員会：3回

- 1) 建設業における労働環境の現状の把握、課題の抽出
- 2) 建設マネジメントに係る具体的方策について検討し、国や発注者、関係する各企業の施策へ反映すべく、産・官・学が集う中立的な立場からの提案

41-10 パンデミック対応検討小委員会

委員長 大 西 正 光

ほかに委員：12名 委員会：3回

- 1) 当初のコロナクライシスへの対応をレビュー
- 2) コロナ後（若しくは with コロナ）の新しい建設生産システム等のあり方の検討

42. コンサルタント委員会

委員長 今 井 敬 一

副委員長 清 水 陽 子

幹事長 長 塚 麻 子

副幹事長 白 木 綾 美 玉 岡 秀 敏

ほかに委員および幹事：25名 委員会：2回

- 1) コンサルティングサービスのあり方、コンサルタントのブランド確立及び社会貢献を醸成するための調査・研究
- 2) 合意形成能力および国際競争力向上の人材育成に関する調査・研究
- 3) 各小委員会活動成果の会員・社会への公開（広報資料、実践論文集及び出版物作成、シンポジウムや研究討論会等の主催）
- 4) 社会・他学協会との協働活動の実施、非学会員との協働活動、ほか

42-1 市民合意形成研究小委員会

委員長 上 野 俊 司

副委員長 白 水 靖 郎

幹事長 伊 藤 将 司

ほかに委員：19名 委員会：3回

- 1) 官民が連携した先進的な取組みに関する事例研究、事例集の作成
- 2) 官民連携活動における市民合意形成に関わる研究討論会等の開催
- 3) 合意形成における今日的課題の抽出

42-2 市民交流研究小委員会

委員長 黒 川 信 子

副委員長 川 上 佐 知 清 水 陽 子

ほかに委員：20名 委員会：2回

- 1) ぐらしに密着した土木学会活動成果の市民への発信
- 2) 市民と土木関係者との相互交流を企画・実施
- 3) さまざまな社会活動（他の市民団体など）との連携・支援

42-3 論文集企画小委員会

委員長 板谷和也 幹事長 田中 淳

ほかに委員および幹事：15名 委員会：4回

- 1) 実践論文の「研究発表会」を開催
- 2) 論文投稿数拡大のための広報活動

42-4 地方創生特別小委員会

委員長 工藤 誠 副委員長 玉岡 秀敏

ほかに委員：8名 委員会：3回

- 1) インフラ・空間整備による地方創生の成功事例の収集
- 2) 地方創生シンポジウムの開催
- 3) 取りまとめおよび成果の展開

42-5 グローバルシビルエンジニア研究小委員会

委員長 ティ ハ

副委員長 ゴンザレス ジョナタン 劉 翠平

ほかに委員：12名

- 1) 土木分野における企業の外国人技術者受け入れ状況や活躍の実態の把握
- 2) 外国人技術者が日本の企業で活躍する上で直面している壁や課題等の抽出
- 3) 学会のメリットを活かした企業に所属する外国人技術者の活動の場の創出
- 4) 企業側と外国人技術者双方への課題解決についての提言

43. 安全問題研究委員会

委員長 広兼道幸 幹事長 高橋弘樹

ほかに委員：18名 委員会：6回

- 1) 土木工学における安全問題に関する調査・研究を実施
- 2) 「安全工学シンポジウム」を共催で開催

43-1 安全問題討論会実行小委員会

委員長 山中 憲行

ほかに幹事：3名

- 1) 「安全問題討論会」開催のための企画運営
- 2) 土木学会論文集 F6(安全問題)特集号の編集

43-2 地域安全小委員会

委員長 長谷川 潤 幹事長 磯打 千雅子

ほかに委員：19名 委員会：5回

- 1) 地域住民のリテラシーの向上、意識付けに向けた自治体の支援事例、地域が主体的に担っている減災、防災に資する取組事例の収集整理
- 2) 事例結果を踏まえたあらゆる災害に対応できる今後のBCP, DCPの在り方の検討

43-3 土木工事安全小委員会

委員長 須藤 英明 幹事長 吉川 直孝

ほかに委員およびオブザーバー：12名

- 1) 土木工事における事故事例, 安全に関する事例分析
- 2) 日英比較に基づく建設工事の労働安全衛生マネジメント等の検討

43-4 安全工学シンポジウム企画運営小委員会

委員長 吉川 直孝

ほかに委員：3名

- 1) 安全工学シンポジウムの企画運営、サポート

44. 応用力学委員会

委員長 本田 利器 幹事長 森口 周二

ほかに副幹事長、委員、地区幹事および幹事：84名 委員会：1回

- 1) 応用力学に関する調査研究を実施
- 2) 「第26回土木学会応用力学シンポジウム」を主催
- 3) 応用力学講演会2023を開催
- 4) 「応用力学論文賞」、「応用力学論文奨励賞」、「応用力学講演賞」の表彰
- 5) 「応用力学フォーラム（地区別）」を実施

44-1 幹事会

委員長 本田 利器 幹事長 森口 周二

ほかに委員、幹事、地区幹事：37名 幹事会：4回

- 1) 委員会、各小委員会等の運営、活動方針につき審議、検討を実施

44-2 応用力学論文集編集小委員会

委員長 本田 利器 幹事長 珠玖 隆行

ほかに委員：11名 委員会：3回

- 1) 土木学会論文集特集号（応用力学）の論文募集、審査、編集および発刊
- 2) 土木学会論文集特集号（応用力学）の論文募集の準備

44-3 応用力学シンポジウム運営小委員会

委員長 本田 利器 幹事長 森口 周二 （第28回）

ほかに委員およびオブザーバー：20名 委員会：3回

- 1) 「第27回応用力学シンポジウム」の企画・運営
- 2) 「第28回応用力学シンポジウム」の準備
- 3) 他委員会、他学会等への学会のオンライン開催運営資料等の情報提供

44-4 環境・エネルギー・防災の流体力学研究小委員会

委員長 溝口 敦子

ほかに委員および幹事：19名 委員会：4回

44-5 計算力学× α 小委員会

委員長 加藤 準治

ほかに委員および幹事：44名 委員会：2回

- 1) 計算力学における考え方・手法をキーワードとして基礎研究および調査
- 2) 土木工学における計算力学の新しい展開を構築
- 3) 年次学術講演会の共通セッションの運営

44-6 土木分野の数値解析におけるV&Vに関する小委員会

委員長 櫻井 英行 副委員長 森口 周二

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：29名 委員会：メール審議

- 1) 土木分野の材料ごとに必要となるV&Vの具体的な実施方法のまとめ

- 2) 数値解析の信頼性向上
- 3) 有料講習会「数値解析の V&V の基本的考え方と土木分野における事例」を実施
- 4) 年次学術講演会の共通セッションの運営

44-7 データ駆動型の信頼性設計およびリスク評価実装研究小委員会

委員長 大竹 雄

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：13名 委員会：2回

- 1) データサイエンスを専門とする異分野研究者との意見交換、及び逆問題・データサイエンスの知見を集約
- 2) 国外への情報発信

45. 地下空間研究委員会

委員長 酒井 喜市郎

副委員長 廣瀬 隆正 大沢 昌玄 馬場 康之

幹事長 武田 誠

ほかに委員会顧問、委員および幹事：53名 委員会：3回 幹事会：3回

- 1) 地下空間に関する調査・研究を実施
- 2) 第30回地下空間シンポジウム（2025.1.24 対面オンライン併用）を開催
- 3) 令和6年度土木学会全国大会年次学術講演会 共通セッション CS「地下空間の多角的利用」の企画・運営

45-1 計画小委員会

委員長 大沢 昌玄

ほかに委員および幹事：16名 委員会：4回 WG：1回

- 1) 地下空間に係る計画のあり方を検討することを目的とし、「都市のリノベーションにおける地下空間の果たす役割」、「都市空間計画策定に関する技術者及び技術力の持続的担保のあり方」をテーマに研究活動を実施

45-2 防災小委員会

委員長 尾崎 平

ほかに委員および幹事：32名 委員会：3回 現場見学会：3回

- 1) 防災都市づくりにおける地下空間の役割の検討、および地下空間における防災に関する調査研究を実施

45-3 心理小委員会

委員長 岩崎 裕直

副委員長 加藤 完治

ほかに委員および幹事：20名 委員会：5回

- 1) 心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、地下施設への適用を検討

45-4 維持管理小委員会

委員長 坂井 康人

副委員長 林 久資

ほかに委員および幹事：44名 委員会：3回 セミナー：3回 現場見学会：2回

- 1) アセットマネジメントの観点に立った地下構造物の維持管理システムに関する調査研究を実施
- 2) 委員会内に5つのWG（道路トンネル、鉄道トンネル、インフラ施設、法的視点、新技術）を設置
- 3) WGの研究成果を毎年土木学会が公表している「インフラ健康診断」に反映

45-5 シンポジウム表彰委員会

委員長 津 吉 毅

ほかに委員および幹事：11名

- 1) 「第30回地下空間シンポジウム」における論文賞、論文奨励賞、講演優秀賞、講演奨励賞の選考

45-6 シンポジウム実行委員会

委員長 津 吉 毅

副委員長 粕谷 太郎

ほかに委員および幹事：19名 委員会：10回

- 1) 「地下空間シンポジウム論文・報告集第 30 巻」の作成
- 2) 「第 30 回地下空間シンポジウム」及び「同現場見学会」開催に向けての準備並びに企画、運営

46. 地球環境委員会

委員長 風 間 聡 副委員長 津 旨 大 輔
幹事長 中 舘 一 憲 副幹事長 岡 和 孝
ほかに委員会顧問、委員、特別委員、特任幹事および幹事：30 名 委員会：2 回

- 1) 地球環境問題に関する研究・評価
- 2) 「地球環境シンポジウム」を開催し、『土木学会論文集特集号（地球環境）』および『地球環境シンポジウム講演集』を編集、作成
- 3) ニュースレター「Earth & Forest」の編集、発行：1 回

46-1 地球環境研究論文集編集小委員会

委員長 風 間 聡 幹事長 岡 和 孝
ほかに委員：30 名

- 1) 土木学会論文集特集号（地球環境）の編集、発行（年 1 回）

47. 景観・デザイン委員会

委員長 川 崎 雅 史 幹事長 岡 田 智 秀
ほかに委員および幹事：17 名 委員会：2 回

- 1) 景観・デザインに関する調査研究

47-1 幹事会

幹事長 岡 田 智 秀
ほかに幹事：8 名 委員会：2 回

- 1) タスクの検討
- 2) 委員会の活性化方策についての検討

47-2 デザイン賞選考小委員会

委員長 柴 田 久
ほかに委員・主査・幹事：14 名 委員会：3 回

- 1) デザイン賞の選考
- 2) デザイン賞授賞式の開催

47-3 景観・デザイン研究発表小委員会

委員長 水 谷 智 充 副委員長 林 昌 弘 高 尾 忠 志
ほかに委員：26 名 委員会：3 回

- 1) 第 20 回景観・デザイン研究発表会の開催
- 2) シンポジウムの開催

48. 舗装工学委員会

委員長 佐 藤 研 一 副委員長 亀 山 修 一
幹事長 平 川 一 成 副幹事長 増 戸 洋 幸
ほかに委員および幹事：33 名

- 1) 舗装工学に関する調査研究活動を行う
- 2) 舗装工学ライブラリーの発刊

48-1 路面性状小委員会

委員長 川 村 彰 幹事長 城 本 政 一
ほかに委員：26 名

- 1) 舗装機能の評価法改訂についての検討

48-2 舗装と環境に関する小委員会

委員長 七五三野 茂

幹事長 岩間 将彦

ほかに委員：18名

- 1) ライブラリー図書「持続可能な社会と舗装の役割」の発刊

48-3 舗装工学論文集編集小委員会

委員長 亀山 修一

幹事長 前島 拓

ほかに委員：15名 委員会：6回

- 1) 舗装工学講演会を開催
2) 土木学会論文集（舗装工学）の編集

48-4 企画・運営小委員会

委員長 姫野 賢治

幹事長 加納 孝志

ほかに委員：16名

- 1) 舗装工学講演会内の博士取得者講演会の計画・運営

48-5 舗装標準示方書改訂小委員会

委員長 八谷 好高

幹事長 阿部 長門

ほかに委員：45名 委員会：5回

- 1) 舗装標準示方書改訂に向けての検討

48-6 舗装材料小委員会

委員長 関根 悦夫

幹事長 川端 伸一郎

ほかに委員：41名

- 1) 舗装標準示方書改訂に向けての検討

48-7 国際舗装技術交流小委員会

委員長 姫野 賢治

幹事長 加納 孝志

ほかに委員：18名

- 1) 日中舗装技術ワークショップを開催

48-8 アスファルト舗装設計小委員会

委員長 高橋 修

幹事長 竹内 康

ほかに委員：7名

- 1) 舗装標準示方書改訂に向けての検討

48-9 コンクリート舗装小委員会

委員長 西澤 辰男

幹事長 若林 由弥

ほかに委員：39名 委員会：1回

- 1) 舗装標準示方書改訂に向けての検討

48-10 寒冷地舗装小委員会

委員長 亀山 修一

幹事長 丸山 記美雄

ほかに委員：25名

- 1) 寒冷地舗装に求められる性能、機能の整理など

48-11 歩行者系舗装小委員会

委員長 國井 洋一

幹事長 青木 政樹

ほかに委員：12名

- 1) 歩道の要求性能や管理・点検方法の整理

48-12 水工アスファルト小委員会

委員長 笠原 篤

幹事長 島崎 勝

ほかに委員：22名 委員会：1回

- 1) 舗装工学ライブラリーの執筆

48-13 舗装マネジメント小委員会

委員長 七五三野 茂

幹事長 井原 務

ほかに委員：24名

- 1) 舗装標準示方書改訂に向けての検討
- 2) 講習会の開催準備

48-14 ブロック系舗装小委員会

委員長 竹内 康

幹事長 唐澤 明彦

ほかに委員：22名

- 1) 舗装工学ライブラリー「ブロック系舗装入門」の執筆

48-15 橋面舗装小委員会

委員長 久利 良夫

幹事長 馬場 弘毅

ほかに委員：38名 委員会：2回

- 1) 橋面舗装の技術変遷に関する調査
- 2) 橋面舗装の設計から維持管理までに関する調査研究
- 3) 橋面舗装の新しい研究，検討に関する調査研究

48-16 路床・路盤小委員会

委員長 川端 伸一郎 幹事長 山中 光一

ほかに委員：16名

- 1) 路床・路盤の材料や構造について，特性や試験・評価方法，施工方法を調査研究

49. 複合構造委員会

委員長 牧 剛史

副委員長 大山 理

幹事長 皆田 龍一

ほかに顧問、委員および委員兼幹事：69名 委員会：2回

- 1) 複合構造工学に関する諸課題の調査、研究
- 2) 設計・施工・維持管理に関する指針・基準等の作成と更新
- 3) 国内外の複合構造の学協会関係機関との研究連携と情報収集・発信

49-1 シンポジウム小委員会

委員長 大山 理

幹事長 仁平 達也

ほかに委員：14名 委員会：2回

- 1) 建築学会との連携
- 2) 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム、FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウムの開催

49-2 国際連携小委員会

委員長 北根 安雄

幹事長 川端 雄一郎

ほかに委員：3名

- 1) 海外の学協会等との最新の研究、技術開発等の意見交換や交流・連携

49-3 選挙管理小委員会

委員長 皆田 龍一

ほかに委員：2名

- 1) 委員長選挙の準備と実施

49-4 推薦選考小委員会

委員長 牧 剛 史

ほかに委員：14名

- 1) 土木学会各賞等の候補選考と推薦

49-5 土木学会論文集特集号編集小委員会

委員長 松 本 高 志 幹 事 長 櫻 庭 浩 樹

ほかに委員および幹事：8名

- 1) 土木学会論文集特集号掲載に向けた編集活動

49-6 複合構造の継続教育小委員会

委員長 中 村 一 史 幹 事 長 齋 藤 隆

ほかに委員および幹事：8名 委員会：4回

- 1) セミナー、e-ラーニングの企画・運営

49-7 300年暴露プロジェクト小委員会

委員長 牧 剛 史 幹 事 長 皆 田 龍 一

ほかに委員および幹事：9名

- 1) R3年度の重点研究課題として採択された「300年の超長期暴露を目指した土木構造物の持続性に関する研究」を実行

49-8 複合構造標準示方書小委員会

委員長 渡 辺 忠 朋 幹 事 長 齊 藤 成 彦

ほかに委員および幹事：39名

- 1) 設計編部会、施工編部会、維持管理編部会、FRP部会の4つの部会を設置し、技術的検討課題の抽出と検討する

49-9 複合構造技術の発展に関する調査小委員会

委員長 牧 剛 史 幹 事 長 仁 平 達 也

ほかに委員および幹事：20名 委員会：3回

- 1) 現状技術の複合構造技術の調査・分類・分析

49-10 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会

委員長 西 崎 到 幹 事 長 牧 剛 史

ほかに委員および幹事：25名 委員会：1回

- 1) 土木構造物の構築に関する EC/WLC 算定に関する共通ルールの整理
- 2) 炭素排出量削減の観点からの土木構造物の設計の基本的考え方の提案
- 3) 「CN に向けた土木構造物の設計ガイドライン（案）」（仮称）の作成・公表

49-11 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会

委員長 瀧 本 和 志 副委員長 川 端 雄一郎

ほかに委員及び幹事：18名 委員会：4回

- 1) グリーンインフラとグレーインフラの有する特徴とその評価法の整理
- 2) グリーングレーハイブリッドインフラの対象領域とそれぞれの要求性能の検討
- 3) グリーングレーハイブリッドインフラとしての評価法および評価指標の検討
- 4) 新たなグリーングレーハイブリッドインフラ像の模索

49-12 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会

委員長 大垣 賀津雄 幹事長 小森 篤也

ほかに委員および幹事：16名 委員会：4回

- 1) 樹脂やFRPの研究開発状況の調査・整理・研究課題の抽出および新たな構造物設計法・適応開発に寄与できる情報のまとめ

49-13 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会

委員長 内藤 英樹 幹事長 安保 知紀

ほかに委員および幹事：16名 委員会：2回

- 1) プレキャスト・プレハブ複合構造物の活用や設計法の整備に向けての検討

49-14 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会

委員長 石川 敏之 幹事長 今川 雄亮

ほかに委員および幹事：21名

- 1) 弾性合成桁の設計法（システム）として、断面力の算出やずれ止めの設計、モデル化を検討

50. 木材工学委員会

委員長 吉田 雅穂 副委員長 佐々木 貴信

幹事長 木村 礼夫

ほかに委員、幹事、オブザーバー、顧問：27名 委員会：5回

- 1) 日本森林学会および日本木材学会との横断的調査研究事業の実施
- 2) 研究開発活性化交流のための第23回木材利用研究発表会、第14回木材利用シンポジウム、および全国大会における部門セッションの主催
- 3) 全国大会における研究討論会の主催
- 4) 各地方における木材利用研究会および他学会委員会との連携研究の対応・推進
- 5) 新刊本「Q&Aでわかる土木と木材」の販売促進
- 6) 木材工学出張講義の実施（東京農業大学）
- 7) 土木用木材のPR（ウッドデザイン賞・土木学会選奨土木遺産サポート）
- 8) 木材工学委員会関連過去資料のデジタルアーカイブ化
- 9) サイエンスアゴラ2024に参加

50-1 CO₂収支評価研究小委員会

委員長 村野 昭人

ほかに委員：9名 委員会：4回（オンラインで開催）

- 1) 土木における木材利用に関する規制及び規準類の調査
- 2) 木材利用した場合のCO₂削減効果および貯蔵効果の検討

50-2 木橋の新技术に関する研究小委員会

委員長 豊田 淳

ほかに委員、幹事：25名 委員会：4回、他にメールにて審議

- 1) 木橋の維持管理に関する調査研究
- 2) 木橋の設計事例や維持管理の事例集のとりまとめ
- 3) CLT床版を用いた橋梁補修工法に関する研究
- 4) 「全国木橋サミット2024 in 岩国」を開催した

50-3 地中使用木材の耐久性と耐震性研究小委員会

委員長 森 満範 副委員長 山田 昌郎

幹事長 尾崎 健一郎

ほかに委員、オブザーバー：19名 委員会：4回

- 1) 地中使用木材の健全性を評価するための方法論やマニュアル類の整備
- 2) 地中使用木材の維持管理に関する検討、既存構造物の事例収集と健全性評価法の提案
- 3) 地中使用木材に関する事例収集、木杭等、土木・建築構造物に使用された木材の地震被害に関する文献等調査と整理
- 4) 地中使用木材に関連した見学会の実施、小委員会主催によるシンポジウム等の企画

50-4 木製建設資材に関する研究小委員会

委員長 加藤 英雄 副委員長 木村 礼夫
ほかに委員、幹事、オブザーバー：14名 委員会：5回

- 1) 木製建設資材の使用事例に関する調査
- 2) PPP/PFI に関する調査・研究
- 3) 木製外構部材の維持管理に関する情報収集
- 4) 地方公共団体の土木分野における木材利用の事例収集

50-5 論文集編集小委員会

委員長 野田 龍 幹事長 下妻 達也
ほかに委員：11名 委員会：3回、他にメールにて審議

- 1) 第23回木材利用研究発表会の実施
- 2) 第24回木材利用研究発表会の準備
- 3) 土木学会論文集 No. 23（木材工学）の発行に向けた準備
- 4) 土木学会論文集 Vol. 81 No. 28 特集号（木材工学）の編集

51. 土木学会論文集編集委員会

委員長	吉田 秀典	副委員長	風間 聡
幹事長	山本 貴士	副幹事長	判治 剛
11 小委員会委員長	舘石 和雄	12 小委員会委員長	前田 健一
21 小委員会委員長	戸田 祐嗣	31 小委員会委員長	岡村 未対
32 小委員会委員長	岩波 基	33 小委員会委員長	林 久資
41 小委員会委員長	室町 泰徳	42 小委員会委員長	藤原 章正
43 小委員会委員長	樋口 輝久	44 小委員会委員長	岡田 昌彰
51 小委員会委員長	佐伯 竜彦	52 小委員会委員長	坪川 将丈
53 小委員会委員長	末次 大輔	61 小委員会委員長	河村 圭
62 小委員会委員長	千々和 伸浩	63 小委員会委員長	板谷 和也
64 小委員会委員長	野村 泰稔	71 小委員会委員長	津旨 大輔
81 小委員会委員長	津旨 大輔	電子化小委員会委員長	布施 孝志

ほかに委員（特集号委員長）：16名

各編集小委員会

幹事長：19名 委員：115名 幹事：6名

編集調整会議：4回 幹事会：4回 各編集小委員会：主にオンライン会議

- 1) 土木学会論文集 Vol. 80(2024年4月～2024年12月)とVol. 81(2025年1月～2025年3月)、ならびに Journal of JSCE（土木学会英文論文集）Vol. 12(2024年4月～2024年12月)とVol. 13(2025年1月～2025年3月)を編集し、オンラインジャーナル(J-STAGE)にて発行・公開。また、特集号についても掲載作業が完了したものを公開した。
- 2) 土木学会論文集 Vol. 80, No. 1～12（2024年）の掲載件数は166件、2,209頁。Journal of JSCE（土木学会英文論文集）Vol. 12, No. 1(2024年)の掲載件数は25件、301頁。さらに、特集号については、年間16タイトル

を掲載し、2024 年の掲載件数は 971 件（和文 924 件、英文 47 件）。

【出版部門】

52. 出版委員会

- 委員長 松野 篤二 幹事長 本丸 哲也
ほかに委員および幹事：24 名 委員会：5 回 幹事会：4 回 ヒアリング調査：1 回
- 1) 土木学会出版物および監修刊行物の管理。
 - 2) 「著作権に関する規則」の英訳版の公開。
 - 3) 丸善出版との取引条件変更見直し。
 - 4) 2024 年度中に刊行した主な出版物は別表のとおり

52-1 土木製図基準改訂小委員会

- 委員長 大倉 一郎 副委員長 松本 修一
幹事長 荒川 昭治
ほかに 委員兼幹事：1 名 部門担当幹事：6 名 委員：12 名 委員会：開催せず
- 1) 「土木製図基準 2009 年改訂版」のアフターケア

52-2 測量実習指導書編集小委員会

- 委員長 大林 成行
ほかに 委員：6 名 委員会：開催せず
- 1) 「測量実習指導書 2007 年版」のアフターケア

【情報資料部門】

53. 土木図書館委員会

- 委員長 小野田 滋 幹事長 今 尚之
ほかに委員：6 名 委員会：1 回
- 1) 東日本大震災アーカイブサイトの継続運用
 - 2) オンライン土木博物館（ドボ博）の継続運用
 - 3) 土木図書館デジタルアーカイブス・図面資料研究などの検討・支援
 - 4) 図書館の将来像検討

53-1 ドボ博小委員会

- 委員長 北河 大次郎
ほかに委員：5 名 メール審議
- 1) オンライン土木博物館「ドボ博」企画展のコンテンツ拡充、連載企画の更新

53-2 土木人物調査小委員会

- 委員長 小野田 滋
ほかに委員：9 名 小委員会：5 回
- 1) 「土木と 100 人」シリーズの続編の作成を念頭に置いた土木人物調査

54. 土木技術映像委員会

- 委員長 相場 淳司
副委員長 榊山 清人
幹事長 沖原 光信
ほかに委員・委員兼幹事：22 名 顧問：2 名 委員会：8 回 幹事会：0 回 選定審査会：1 回
- 1) イブニングシアター・全国大会映画会・市民特別上映会の開催について

- 2) 土木学会映画コンクールについて
- 3) 震災アーカイブサイトへの能登半島地震映像掲載について

54-1 映像一般公開小委員会

委員長 加納 陽 輔

ほかに委員：7名 小委員会：3回（メール審議）

54-2 映像資料調査小委員会

委員長 梶山 清 人

ほかに委員：6名 小委員会：0回

【総務部門】

55. 表彰委員会

委員長 佐々木 葉 副委員長 今村 文彦

功績賞主査 大脇 崇 技術賞主査 勝見 武

ほかに委員、評点会議委員、幹事およびオブザーバー：35名

方針策定会議：1回 委員会：2回 主査幹事会：1回 技術賞候補内容説明会：1回

- 1) 功績賞、技術賞受賞候補の選考

- 2) 土木学会賞受賞候補の決定

55-1 環境賞選考委員会

委員長 吉谷 純一

副委員長 岩波 光保

幹事長 増岡 健太郎

ほかに委員および幹事：28名 委員会：3回 幹事会：4回

- 1) 環境賞候補の選考方針の決定

55-2 論文賞選考委員会

委員長 吉田 秀典

副委員長 平林 由希子

幹事長 中井 健太郎

ほかに主査、副主査、委員および幹事：56名 委員会：2回 主査・幹事会：2回 部門会議：1回

幹事会：3回

- 1) 研究業績賞、論文賞および論文奨励賞候補の選考

55-3 吉田賞選考委員会

委員長 河合 研至

副委員長 下村 匠

幹事長 細田 暁

ほかに委員および幹事：23名 委員会：3回 小委員会：1回 幹事会：4回

- 1) 吉田賞候補および吉田研究奨励賞受賞候補者の選考

55-4 田中賞選考委員会

委員長 山口 栄輝

副委員長 本間 淳史

幹事長 判治 剛

ほかに委員および幹事：24名 委員会：3回 幹事会：4回

- 1) 田中賞（業績・論文・作品・技術の4部門）候補の選考

55-5 技術開発賞選考委員会

委員長 忽那 幸浩

副委員長 増井 隆

幹事長 石田 篤徳

ほかに委員および幹事：19名 委員会：3回 幹事会：3回

- 1) 技術開発賞候補の選考

55-6 出版文化賞選考委員会

委員長 福井恒明 副委員長 荒木進歩
ほかに委員：10名 委員会：4回

- 1) 出版文化賞候補の選考

55-7 国際貢献賞選考委員会

委員長 田中仁 副委員長 橋場克司
幹事長 舘健一郎
ほかに委員および幹事：16名 委員会：3回 幹事会：1回

- 1) 国際貢献賞および国際活動奨励賞候補の選考

55-8 技術功労賞選考委員会

委員長 栗原哲彦 副委員長 大野賢二
副委員長 仲村成貴 幹事長 齊藤準平
ほかに委員および幹事：21名 委員会：3回 幹事会：3回

- 1) 技術功労賞候補の選考

56. 映画コンクール審査委員会

委員長 佐々木葉 副委員長 相場淳司
ほかに委員：9名 委員会：1回

- 1) 映画コンクール各賞の選考

57. 土木学会選奨土木遺産委員会

委員長 知野泰明 幹事長 樋口輝久
ほかに委員、支部委員および幹事：9名 委員会：1回

- 1) 『土木学会選奨土木遺産』の選考

58. 役員候補者選考委員会

委員長 池田謙太郎
ほかに委員：100名

58-1 基本方針等策定部会

部会長 楠見晴重
幹事 布施孝志 古川慎治 加藤和彦
ほかに部会員：17名 オブザーバ：8名 部会：1回

- 1) 土木学会役員候補者の選考

59. 名誉会員候補者選考委員会

委員長 大脇崇
ほかに委員：5名 オブザーバ：3名

- 1) 名誉会員候補者の選考

60. 定款委員会

60-1 規則等検討部会

61. 倫理・社会規範委員会

委員長 佐々木葉 副委員長 池内幸司
幹事長 伊藤和也
ほかに委員、幹事およびアドバイザー：11名 委員会：2回

- 1) 小委員会およびWG活動全体の総括

61-1 企画運営小委員会

委員長 丸山 信 幹事長 柴田 尚規

ほかに委員、幹事、アドバイザーおよびオブザーバー：8名

- 1) 倫理規定の改定のサポート
- 2) 他の学協会等の実践・検討状況の把握

61-2 教育小委員会

委員長 秀島 栄三 幹事長 川原井 裕子

ほかに委員、幹事：11名 委員会：3回

- 1) 倫理問題の実態調査
- 2) 技術者倫理教育の教材開発
- 3) 講師派遣と倫理教育の人材育成

62. 全国大会委員会

委員長 河合 研至 副委員長 大内 雅博

幹事長 池田 真理子 副幹事長 玉井 誠司

ほかに委員および幹事：24名 委員会：2回 幹事会：1回

- 1) 全国大会に関する検討

62-1 運営・学術小委員会

委員会：3回

- 1) 全国大会の実務運営に代わる検討
- 2) 年次学術講演会の実施に関する事項

【会員・支部部門】

63. フェロー審査委員会

委員長 杉山 和久

ほかに委員：9名 委員会：メール審議 6回

- 1) フェロー会員申請者の審査を行い、候補者を選考した。

【技術推進機構】

64. 継続学習委員会

委員長 尾高 義夫 幹事長 大久保 秀一

ほかに委員および幹事：11名 委員会：3回

- 1) CPD 制度の基本事業（継続学習のあり方など）の審議
- 2) CPD 制度の改訂
- 3) e-ラーニング導入検討、CPD 記録・登録システム改訂および修正
- 4) 「建設系 CPD 協議会」に関する活動

64-1 継続教育制度小委員会

委員長 尾高 義夫

ほかに委員および幹事：8名

- 1) 継続教育制度の課題の確認、改善の検討
- 2) 教育形態の見直しの実施

64-2 eラーニング事業化検討小委員会

委員長 安田 学

ほかに委員およびオブザーバー：8名

- 1) e-ラーニングに関するアンケート調査
- 2) コンテンツ制作についての課題抽出

65. 土木学会土木技術者資格委員会

委員長 田中規夫 幹事長 三島徹也

ほかに委員：9名 幹事：4名 委員会：4回

- 1) 技術者資格審査の基本事項（受験・登録要件など）の審議
- 2) 特別上級土木技術者、上級土木技術者、1級土木技術者及び2級土木技術者資格審査の合否判定に関する審議
- 3) 資格制度の運営に関する課題の検討
- 4) 国土交通省民間資格公募への対応の検討・実施

65-1 特別上級土木技術者資格小委員会

委員長 酒井利夫 幹事長 丸屋剛

ほかに委員：9名 幹事：11名 委員会：3回 審査会：1回

- 1) 特別上級土木技術者資格審査の実施要領、審査方法等の検討、審議
- 2) 特別上級土木技術者資格審査（口頭試問）の実施

65-2 上級土木技術者資格小委員会

委員長 横山勝英 幹事長 渡邊賢三

ほかに委員：22名 幹事：23名 委員会：8回 審査会：1回

- 1) 上級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 上級土木技術者資格（コースA）審査（筆記試験、口頭試問）の実施
- 3) 上級土木技術者資格（コースB）審査（審査会、口頭試問）の実施

65-3 1級土木技術者資格小委員会

委員長 大森宣暁 幹事長 伊藤将司

ほかに委員：22名 幹事：22名 委員会：8回 審査会：1回

- 1) 1級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 1級土木技術者資格（コースA）審査（筆記試験）の実施
- 3) 1級土木技術者資格（コースB）審査（審査会、口頭試問）の実施

65-4 2級土木技術者資格小委員会

委員長 日比野 誠

ほかに委員：6名 委員会：1回

- 1) 2級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 土木技術検定試験の実施

65-5 外国人技術者資格検討小委員会

委員長 田中 仁

ほかに副委員長：2名 委員：11名 幹事：1名 委員会：4回

- 1) 外国人技術者への資格試験の適用方法の検討

66. 技術評価制度検討委員会

委員長 風間 優

ほかに委員：15名

- 1) 技術評価依頼受注の諾否の審議
- 2) 評価対象技術の技術評価結果の審議

66-1 「ESCON ビーム」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 二羽 淳一郎

ほかに委員：4名

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-2 「高強度 SFRC と中空構造を組み合わせた道路橋床版『T-L³Slab』」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 内田 裕市

ほかに委員：4名 委員会：1回

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-3 「GT 工法による場所打ち杭鉄筋かご」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 牧 剛史

ほかに委員：4名 委員会：1回

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-4 「コンクリート中の塩化物イオン濃度測定機器「塩分センサ」」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 杉山 隆文

ほかに委員：4名 委員会：2回

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-5 「突起付き H 形鋼「ストライプ H」を軸方向鉄筋代替とした橋梁基礎構造」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 西岡 英俊

ほかに委員：4名

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-6 「小径コアコンクリート検査システム「モバイルコアシステム®」」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 佐藤 靖彦

ほかに委員：4名

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-7 「ESCON 道路橋床版」に関する技術評価委員会（新規）

委員長 二羽 淳一郎

ほかに委員：4名

1) 当該技術（新規）に関する技術評価

66-8 「液状化現象によるマンホールの浮上抑制技術『ハットリング工法』」に関する技術評価委員会（更新）

委員長 濱田 政則

ほかに委員：4名 委員会：1回

1) 当該技術（更新）に関する審議

66-9 「回転切削圧入工法(ジャイロプレス工法)の設計法・施工法」に関する技術評価委員会（更新）

委員長 濱田 政則

ほかに委員：5名

1) 当該技術（更新）に関する審議

66-10 「スリムクリート技術評価委員会」に関する技術評価委員会（更新）

委員長 横田 弘

ほかに委員：4名

1) 当該技術（更新）に関する審議

67. ISO 対応特別委員会

委員長 木幡 行宏

副委員長 勝地 弘

幹事長 国枝 稔

ほかに委員兼幹事：7名 委員：27名 顧問：2名 委員会：1回

- 1) 土木関連分野の国内審議団体との連絡・調整および全般的立場からの意見提出
- 2) 土木関連分野の ISO および CEN に関する情報収集、管理および提供
- 3) その他 ISO に関する活動（ISO ジャーナル発刊）

67-1 情報収集小委員会

委員長 長井宏平

ほかに委員：1名 メールにて審議

- 1) 土木 ISO ジャーナルの発行
- 2) 土木関連 ISO 規格のモニタリング
- 3) ISO 規格関連情報の収集

68. 技術者教育プログラム審査委員会（受注）

委員長 峯岸邦夫

副委員長 高橋清

幹事長 鷺見浩一

ほかに委員兼幹事：16名 委員会：5回 主審査員会議（委員会と合同）：2回

日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に対応し、次の活動を実施

- 1) 「土木及び関連の工学分野」の教育プログラムに対する分野別審査実施と JABEE への結果報告
- 2) 「工学（複合融合・新領域）及び関連のエンジニアリング分野」の教育プログラムに対する分野別審査への協力

69. インフラメンテナンス総合委員会新技術適用推進小委員会

委員長 木村嘉富

幹事長 新井崇裕

ほかに顧問3名 委員：19名 副幹事長：2名 委員兼幹事：6名 小委員会：1回

- 1) 内閣府総合戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）終了（2019年3月）に伴う SIP インフラ連携委員会（2019年3月終了）の活動継承
- 2) インフラ維持管理技術の地域実装促進に関わる地域ネットワークの整備と技術実証、技術情報展開
- 3) インフラ維持管理技術の国際展開
- 4) JICA との覚書（2019年3月締結）に基づく道路アセットマネジメントに関する連携活動
- 5) 技術基準・技術標準の作成
- 6) 学会内外の関連機関・活動との連携・支援活動（学会インフラメンテナンス関連委員会、国土交通省、インフラメンテナンス国民会議など）

69-1 地域実装促進部会

部長 田中泰司

ほかに副部長：1名 委員：9名 幹事長：1名 委員会：1回

- 1) SIP インフラ地域実装活動継承
- 2) 地域ネットワークの整備と技術実証、技術情報展開
- 3) 関連機関・活動との連携・支援活動（国土交通省、インフラメンテナンス国民会議など）
- 4) 技術基準の作成と普及
- 5) 新技術の地域実装促進に関わる研究助成対応

69-2 国際展開部会

部長 長井宏平

ほかに委員：5名 幹事長：1名 委員会：5回

- 1) 新技術の国際展開に向けた検討
- 2) インフラ維持管理技術の国際展開研究助成対応
- 3) JICA 連携活動（留学生受入れ、留学生研修、道路アセットマネジメントプラットフォーム国内支援など）